

工 事 番 号							
設計年度	令和 7 年度		桥梁補修工事（市道明神12号線1号桥梁（親子橋）） 三原市 明神三丁目 仕 様 書				
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
明神12号線1号桥梁（親子橋） 桥梁補修 L=22.9m 桥梁塗装工 A=190m2 伸縮継手工 L=4m 舗装打換え工 A=32m2							

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市明神三丁目 橋梁補修工事（市道明神12号線1号橋梁（親子橋））に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・ **土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

- ・ その他関連規格類

第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とし、原則として請負代金額が1,000万円以上1億円未満の工事は中間検査を1回実施し、1億円以上の工事は2回実施する。

第3節 情報共有システム及び検査

本工事は、情報共有システムの対象であり、実施については土木工事共通仕様書1-1-1-25 施工管理「10. 工事情報共有化」に従うこと。

- 1 本工事は受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 **本工事で使用する情報共有システムは次とする。**
 - 広島県工事中情報共有システム
 - <https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 情報共有システムを利用した書類は、決済データ等を整理して中間検査時・工事完成時にCD-R又はDVD-R（中間検査時1部、完成時2部）にて提出すること。
ただし、電磁的記録しない方が合理的な書類は、監督員と協議の上、紙媒体での提出とすることができる。
- 5 情報共有システムを利用した書類の検査は電磁的記録にて検査する。
検査時に必要となる機器は、原則、受注者が準備することとし、検査に必要な電磁的記録は受注者が当該機器に事前に登録するものとする。
- 6 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第4節 週休2日適用工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日適用工事等の対象工事であり、実施に当たっては「三原市週休2日適用工事等実施要領」に基づき実施するものとする。

第5節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第6節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第7節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credasitop.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
- ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
- イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
- 受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
- 受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
- 受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
- 受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
- 受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
- 受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
- 受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 13 建設発生土の最終搬出先までの確認
- 受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。
- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 関係機関との協議
協議内容 仮設工（足場工）については、河川管理者（広島県）との協議が必要であるため、監督員に図面等を提出すること。
- 2 現場の復旧
原形復旧とする。

第2節 塗替塗装工

- 1 既設塗料に含まれる物質
本橋の鋼材部に使用されている塗料には、鉛が含まれていることが、事前調査で判明している。適切な塗膜除去方法及び塗膜くずの処理を行うこと。
- 2 塗膜除去
塗膜成分試験結果より、鉛が検出されているため、既設塗膜の除去は湿潤化による工法（塗膜剥離剤処理）を行うこと。塗膜剥離においては、保護具等を着用し、十分な換気を行い、作業員の安全を確保すること。また、塗膜くずが、周辺地域に流出しないよう飛散防止措置を行うこと。
- 3 塗膜くず処分
塗膜剥離剤で除去した、有害物質を含む塗膜くずは PCB 無害化处理認定施設で処分すること。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導警備員
作業期間、交通誘導警備員を2（人／日）配置すること。

第4節 建設副産物

- 1 産業廃棄物の場外保管
当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第5節 その他

- 1 工所用機資材の仮置き
場所 受注者が責任をもって確保すること。

第3章 工事保険等

- 1 工事保険等
受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

2 法定外の労災保険 の付保

- (1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。
- (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

数 量 総 括 表

— 橋梁補修工事（市道明神12号線1号橋梁（親子橋）） —

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
現場塗装工	床板（デッキプレート）、主桁、横桁、横構、補剛材、支承	式		1	レベル2
橋梁塗装剥離工		式		1	レベル3
塗膜除去	塗膜除去	m2		190	レベル4
橋梁塗装工		式		1	レベル3
素地調整	2種ケレン相当	m2		190	レベル4
下塗り塗装（1回目）	無溶剤型さび安定化塗料	m2		190	レベル4
下塗り塗装（2回目）	無溶剤型さび安定化塗料	m2		190	レベル4
中塗り塗装	無機系塗料	m2		190	レベル4
上塗り塗装	無機系塗料	m2		190	レベル4
橋梁補修工		式		1	レベル2
当て板工	横桁	式		1	レベル3
現場溶接鋼桁補強	鋼材重量(角形鋼管)	式		1	レベル4
素地調整	1種ケレン(ブラスト法) 研削材及びケレンかす回収・積込工	m2		0.07	レベル4
下地処理	有機ジンクリッチペイント はけ・ローラー 300g×2回/層	m2		0.07	レベル4
下塗	下塗り塗装 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)	m2		0.05	レベル4
中塗	中塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用	m2		0.05	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
上塗	上塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m2		0.05	レベル4
ひび割れ補修工		式		1	レベル3
低圧注入工法	土木補修用エポキシ樹脂注入材1種	構造物		1	レベル4
断面修復工		式		1	レベル3
左官工法	【ポリマーセメントモルタル】 (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)	構造物		1	レベル4
殻運搬	【コンクリート殻】	m3		0.03	レベル4
殻処分	【コンクリート殻】	m3		0.03	レベル4
伸縮継手工		式		1	レベル3
鋼・ゴム製伸縮装置補修	【目地処理 高機能止水材】 【シール材 シリコン系】	m		3.8	レベル4
高欄補修工	高欄	式		1	レベル3
清掃・水洗い	清掃・水洗い	m2		22	レベル4
素地調整	3種ケレンA	m2		22	レベル4
下塗（3層）	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(3層)	m2		22	レベル4
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m2		22	レベル4
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 淡彩	m2		22	レベル4
排水施設工		式		1	レベル3
排水桝	【SUS304】 4箇所分	式		1	レベル4
舗装工		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
舗装打換え工		式		1	レベル3
舗装版破碎(小規模)	【As舗装】	m2		32	レベル4
殻運搬	【As殻】	m3		0.9	レベル4
殻処分	【As殻】	m3		0.9	レベル4
薄層カラー舗装	【樹脂モルタル舗装工・t=8mm】	m2		32	レベル4
階段部補修工		式		1	レベル2
ひび割れ補修工		式		1	レベル3
低圧注入工法	土木補修用エポキシ樹脂注入材1種	構造物		1	レベル4
断面修復工		式		1	レベル3
左官工法	【ポリマーセメントモルタル】 (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)	構造物		1	レベル4
殻運搬	【コンクリート殻】	m3		0.01	レベル4
殻処分	【コンクリート殻】	m3		0.01	レベル4
高欄補修工	高欄（A1階段部）	式		1	レベル3
清掃・水洗い	清掃・水洗い	m2		10	レベル4
素地調整	3種ケレンA	m2		10	レベル4
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)	m2		10	レベル4
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m2		10	レベル4
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 淡彩	m2		10	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
橋梁用高欄工	下横梁取替材（A1階段部）	式		1	レベル3
高欄取替工	【グラインダーケレン】	式		1	レベル4
素地調整	1種ケレン(ブラスト法) 研削材及びケレンかす回収・積込工	m2		0.04	レベル4
下地処理	有機ジンクリッチペイント はけ・ローラー 300g×2回/層	m2		0.04	レベル4
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)	m2		0.04	レベル4
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 淡彩	m2		0.04	レベル4
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 淡彩	m2		0.04	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
足場工		式		1	レベル3
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		式		1	レベル4
* * 直接工事費 * *					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
安全費					
安全費		式		1	レベル2
安全費		式		1	レベル3

工事数量総括表

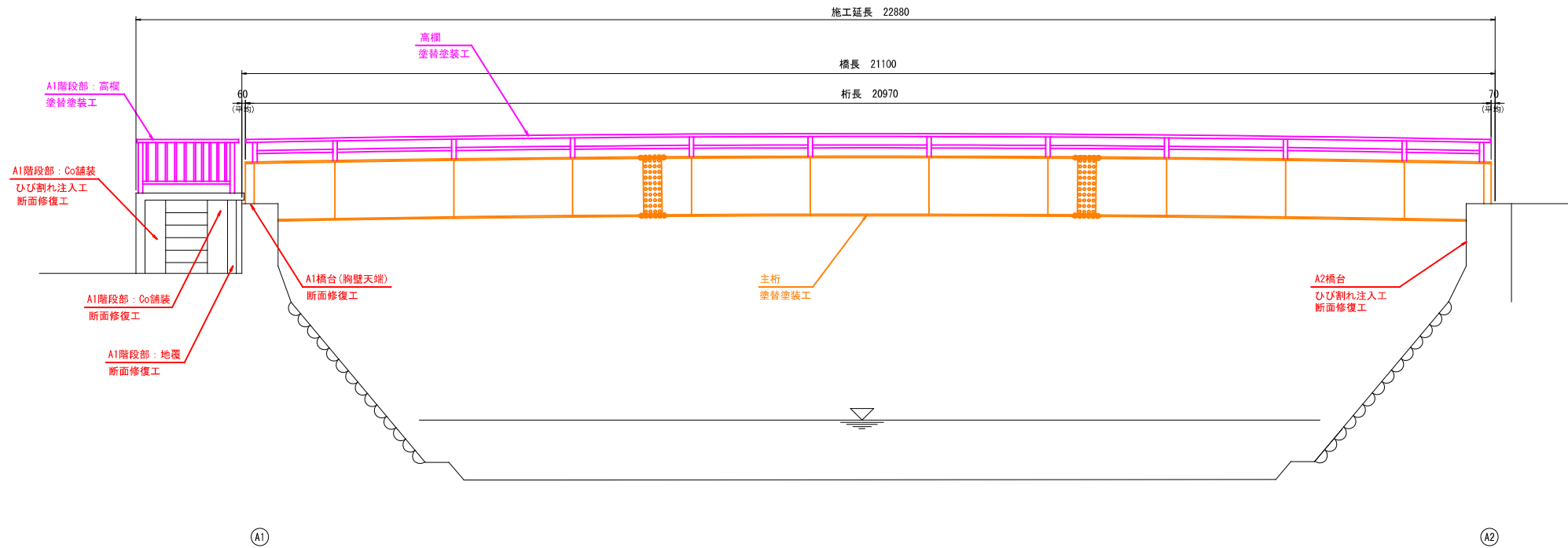
頁0 -0005

[illegible]

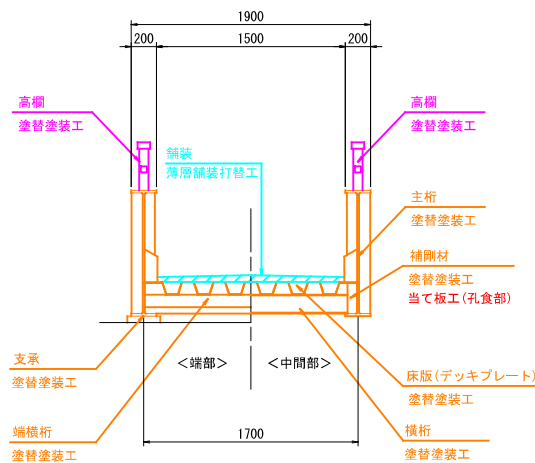
図面番号	1 / 6	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事(市道明神12号線1号橋梁(親子橋))		
種 別	明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修一般図	番 号	1 / 1
路 線 名	市道明神12号線		
工事箇所	三原市明神3丁目 地内		
三 原 市			

明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修一般図

側 面 図 S=1:50



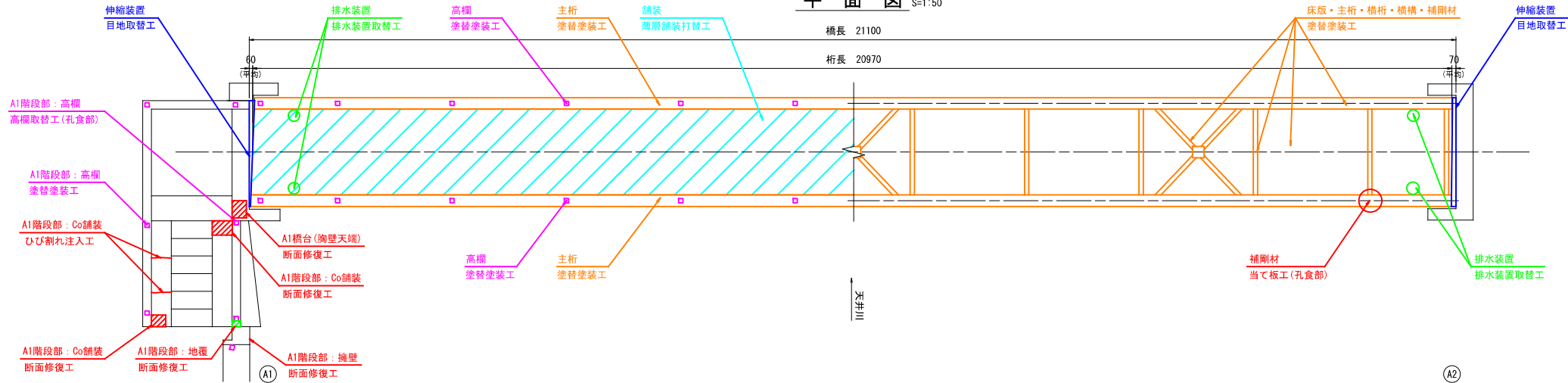
標準断面図 S=1:30



補修対策工

	部 位	工 種
上部工	床版(デッキプレート)	・ 塗替塗装工
	主桁	・ 塗替塗装工
	横桁・横構・補剛材	・ 塗替塗装工
	補剛材	・ 当て板工(孔食部)
下部工	A1橋台(重力式橋台)	・ 断面修復工
	A2橋台(重力式橋台)	・ ひび割れ注入工 ・ 断面修復工
支承	鋼製	・ 塗替塗装工
路上	舗装(A6)	・ 薄層舗装打替工
	伸縮装置	・ 目地取替工
	高欄	・ 鋼製 ・ 塗替塗装工
	排水装置(鋼製)	・ 排水装置取替工 ・ 排水樹 ・ 排水管
A1階段部	舗装(Co)	・ ひび割れ注入工 ・ 断面修復工
	高欄	・ 塗替塗装工 ・ 高欄取替工(孔食部)
	地覆	・ 断面修復工
	擁壁	・ 断面修復工

平 面 図 S=1:50

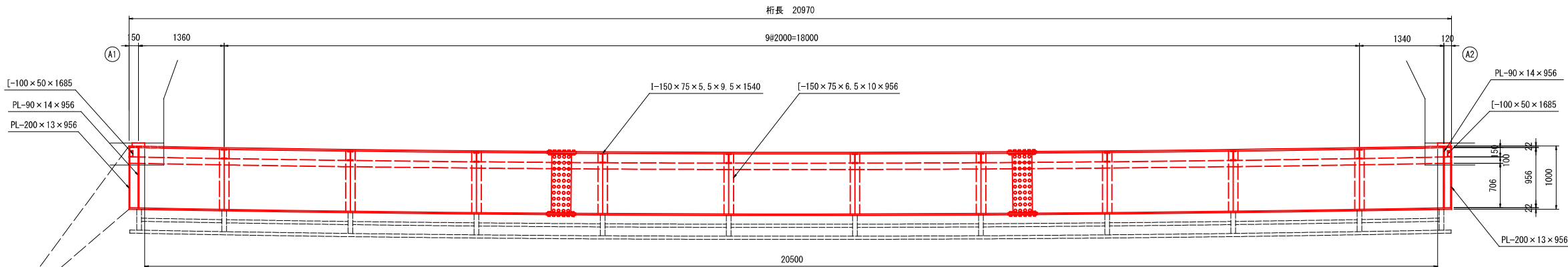


図面番号	2 / 6	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事(市道明神12号線1号橋梁(親子橋))		
種 別	明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修図(上部工1/2)	番 号	1 / 2
路 線 河 川 名	市道明神12号線		
工事箇所	三原市明神3丁目 地内		
三 原 市			

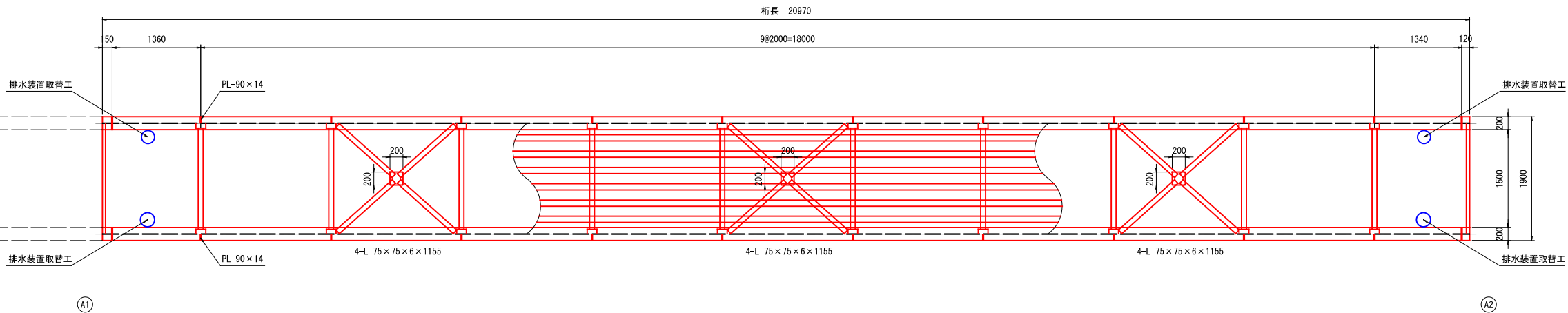
明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修図(上部工1/2)

【床版・主桁】

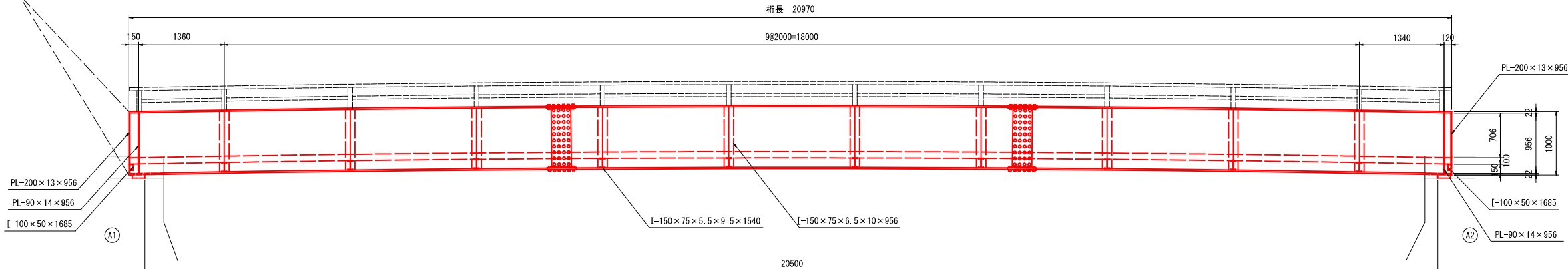
側 面 図 S=1:40
(下流側側面)



平 面 図 S=1:40
(上郡工下面)



側 面 図 S=1:40
(上流側側面)



補 修 凡 例

表 示	損 傷 状 況	補修対策工
	腐食・防食機能の劣化	塗替塗装工
	排水装置の脱落・腐食(孔食)	排水装置取替工

鋼部材：全体的に防食機能の劣化

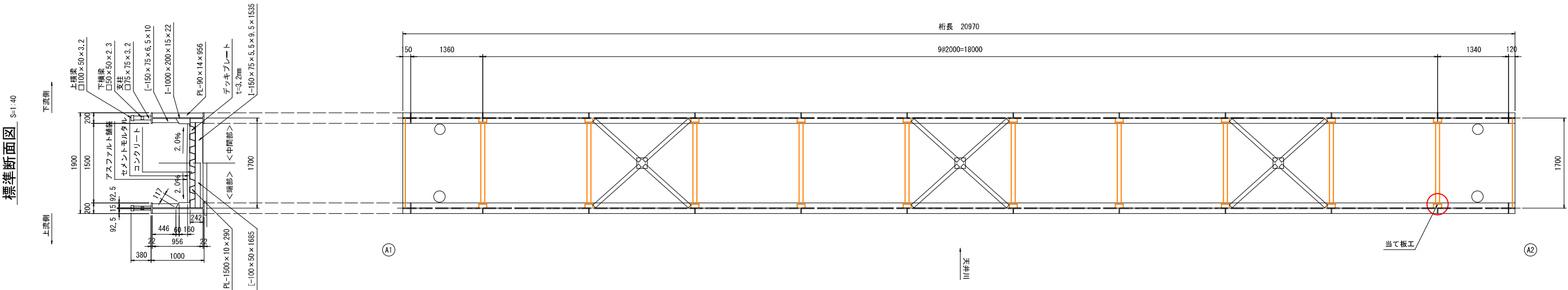
注) 1. 実施工においては、構造寸法等再調査の上、図面整合等確認ののち施工を行うこと。
2. 施工時に発生する粉塵や酸及び補修材料が、河川や周辺環境に影響しないよう適切な防護等を行うこと。

図面番号	3 / 6	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事(市道明神12号線1号橋梁(親子橋))		
種 別	明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修図(上部工2/2)	番 号	2 / 2
路 線 河 川 名	市道明神12号線		
工事箇所	三原市明神3丁目 地内		
三 原 市			

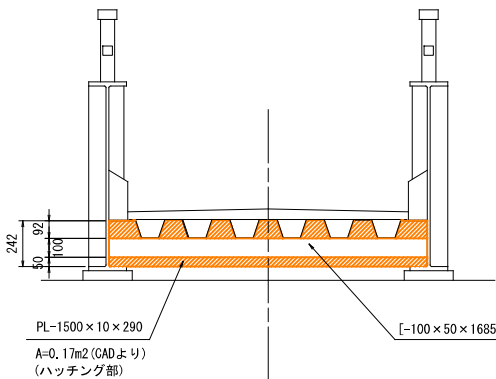
明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修図(上部工2/2)

【横桁】

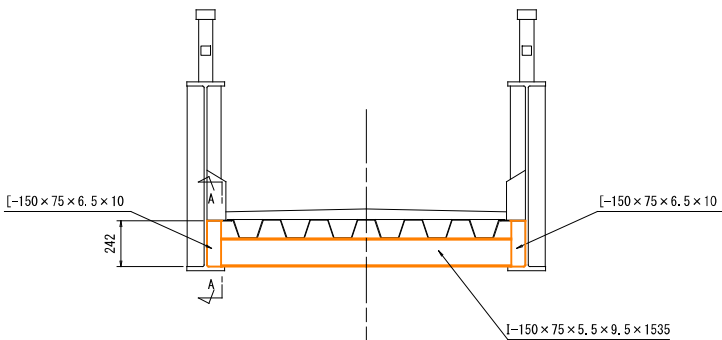
平 面 図 S=1:40
(上部工下面)



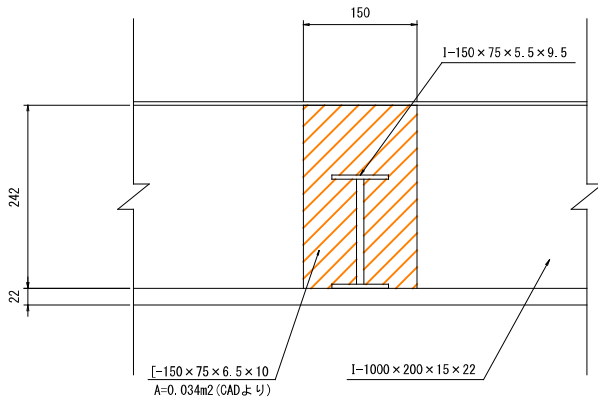
端 横 桁 S=1:20
(N=2箇所)



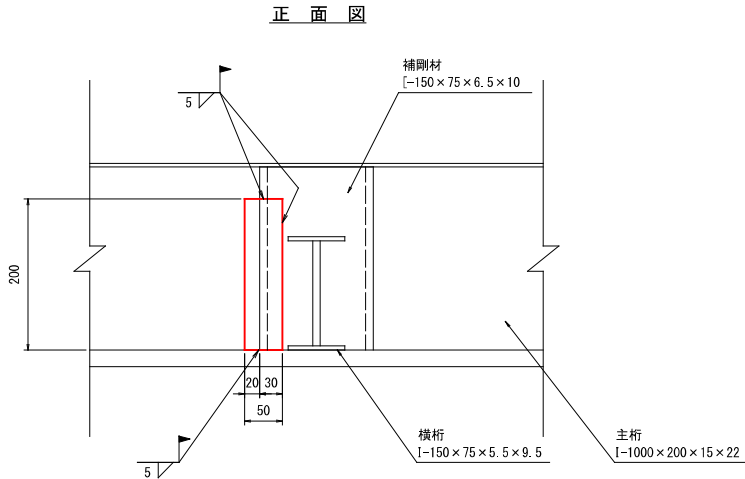
中 間 横 桁 S=1:20
(N=10箇所)



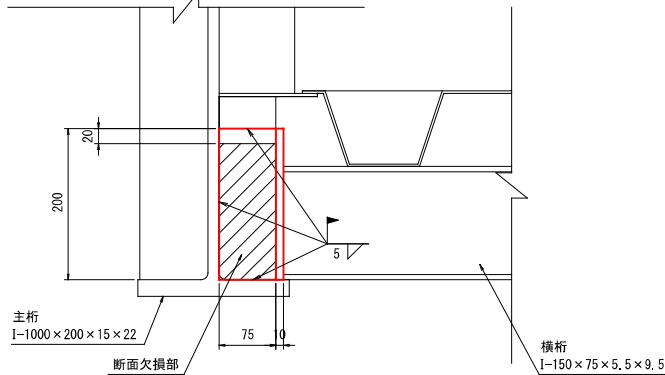
A - A S=1:5



当て板工 S=1:5
(補剛材孔食部)
(N=1箇所)



断 面 図



補 修 凡 例

表 示	損 傷 状 況	補修対策工
	腐食	塗替塗装工
	腐食(孔食)	当て板工

鋼部材：全体的に防食機能の劣化

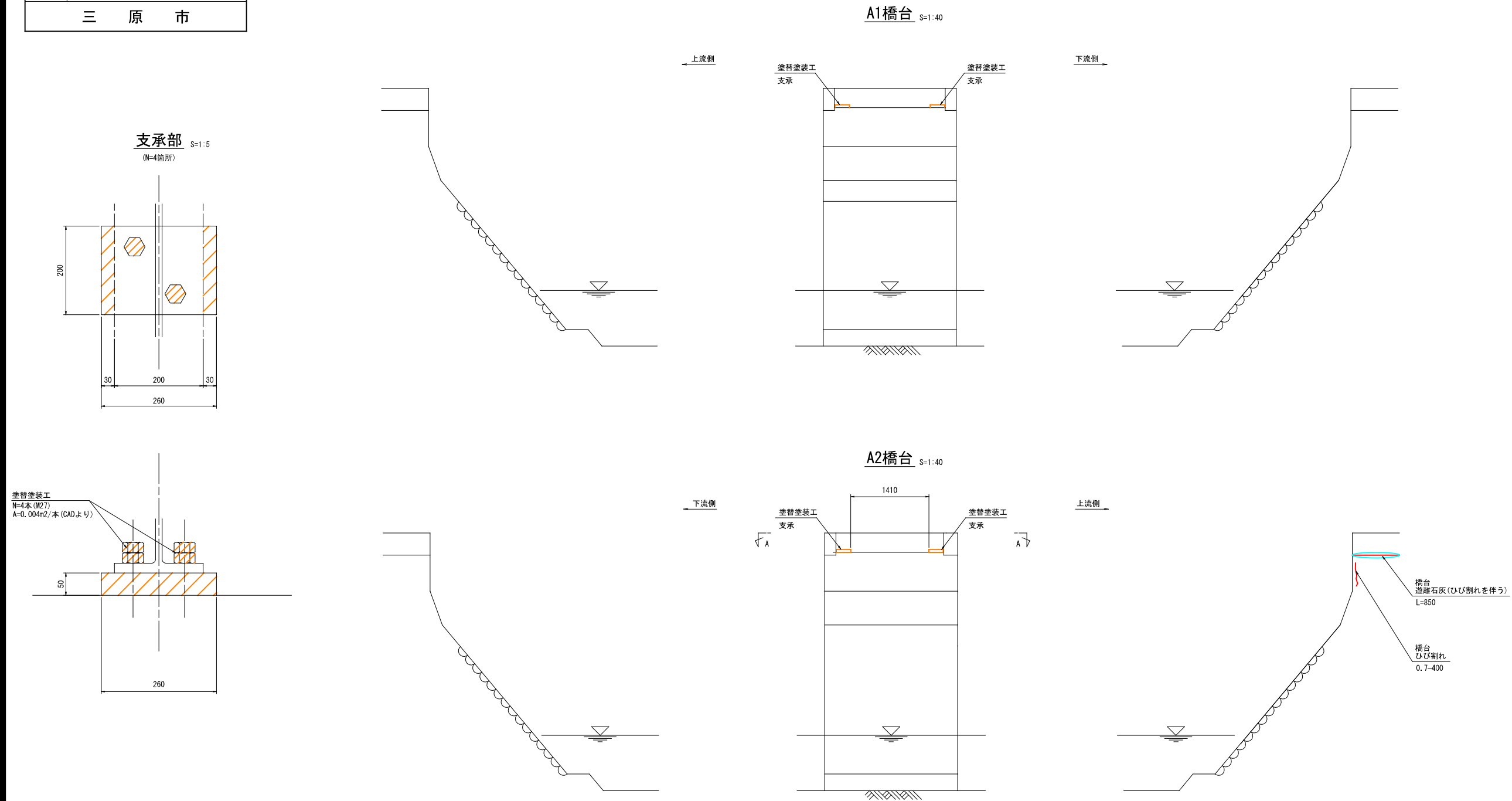
1-PL 75×10×200 (SM400A)
1-PL 50×10×200 (SM400A)

※上部20mmは溶接しない

注) 1. 実施工においては、構造寸法等再調査の上、図面整合等確認ののち施工を行うこと。
2. 施工時に発生する粉塵や殻及び補修材料が、河川や周辺環境に影響しないよう適切な防護等を行うこと。

図面番号	4 / 6	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事(市道明神12号線1号橋梁(親子橋))		
種 別	明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修図(下部工)	番 号	1 / 1
路 線 河 川 名	市道明神12号線		
工事箇所	三原市明神3丁目 地内		
三 原 市			

明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修図(下部工)

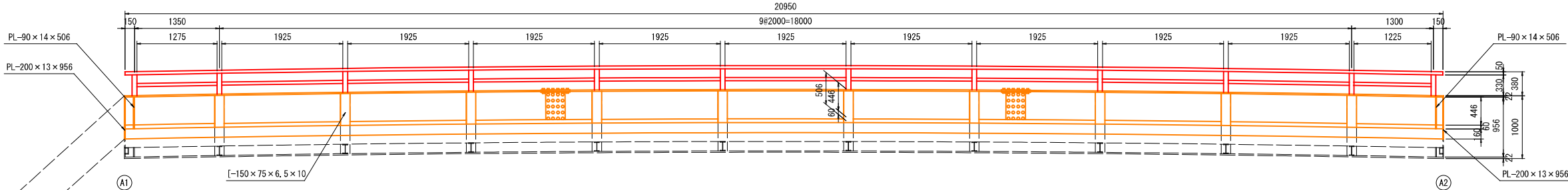


注) 1. 実施工においては、構造寸法等再調査の上、図面整合等確認ののち施工を行うこと。
2. 施工時に発生する粉塵や殻及び補修材料が、河川や周辺環境に影響しないよう適切な防護等を行うこと。

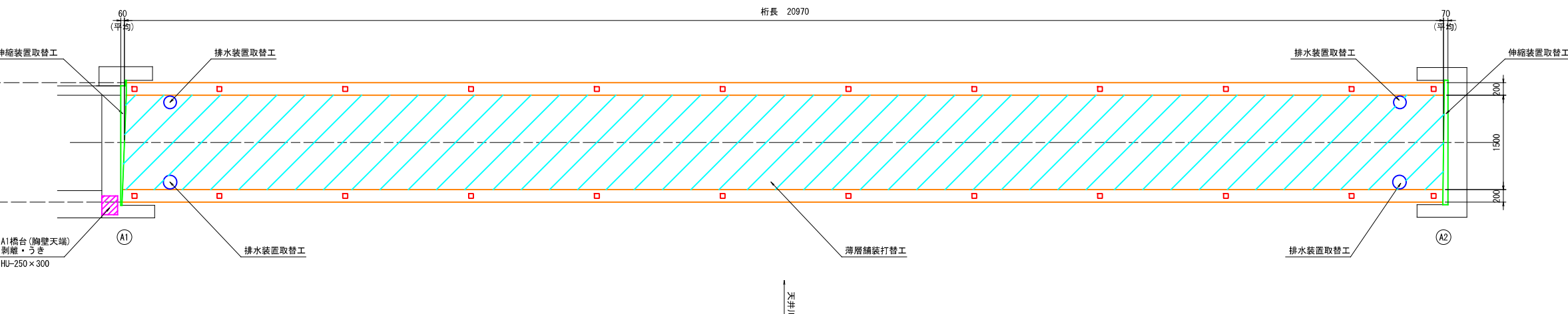
図面番号	5 / 6	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事(市道明神12号線1号橋梁(親子橋))			
種 別	明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修図(路上)	番 号	1 / 1	
路 線 名	市道明神12号線			
工事箇所	三原市明神3丁目 地内			
三 原 市				

明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修図(路上)

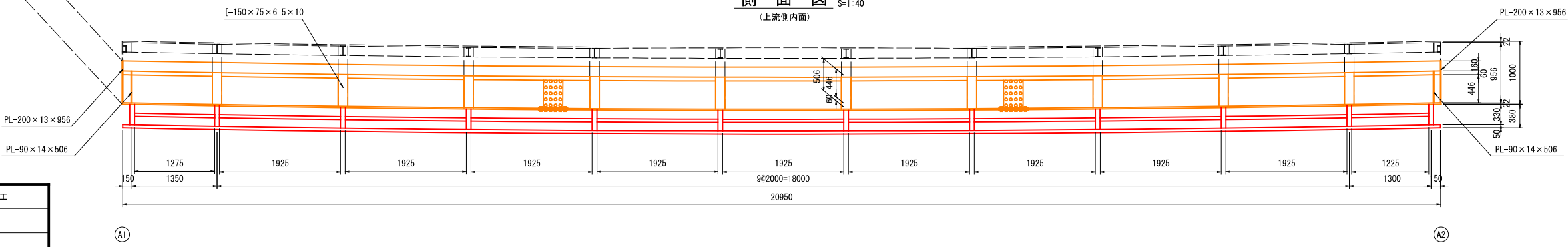
側 面 図 S=1:40
(下流側内面)



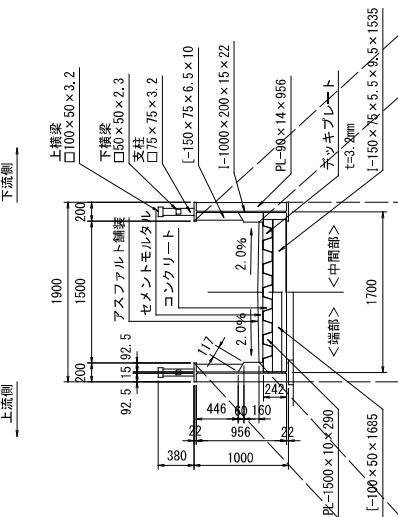
平 面 図 S=1:40
(路上)



側 面 図 S=1:40
(上流側内面)



標準断面図 S=1:40



補 修 凡 例

表 示	損 傷 状 況	補 修 対 策 工
	上部工の腐食・防食機能の劣化	塗替塗装工
	H-剥離、U-うき	断面修復工
	As舗装(ひび割れ・欠損)	薄層舗装打替工
	伸縮装置の目地欠損	伸縮装置取替工
	高欄の腐食・防食機能の劣化	塗替塗装工
	排水樹の腐食	排水装置取替工

鋼部材：全体的に防食機能の劣化

注) 1. 実施工においては、構造寸法等再調査の上、図面整合等確認ののち施工を行うこと。
2. 施工時に発生する粉塵や殻及び補修材料が、河川や周辺環境に影響しないよう適切な防護等を行うこと。

図面番号	6 / 6	縮 尺	図 示	
工 程	橋梁補修工事(市道明神12号線1号橋梁(親子橋))			
種 別	明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修図(A1階段部)	番 号	1 / 1	
路 線 河 川 名	市道明神12号線			
工事箇所	三原市明神3丁目 地内			
三 原 市				

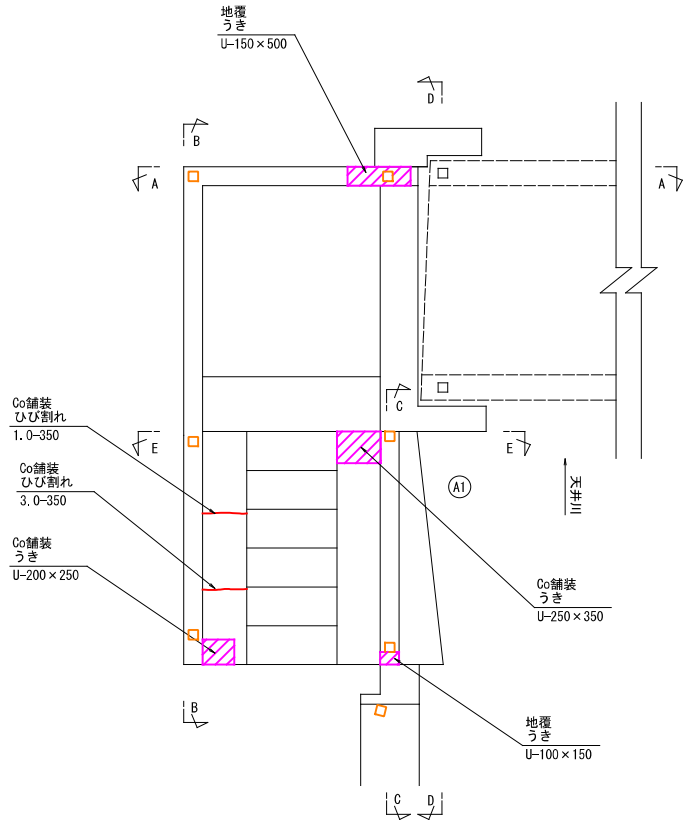
明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修図(A1階段部)

補 修 凡 例

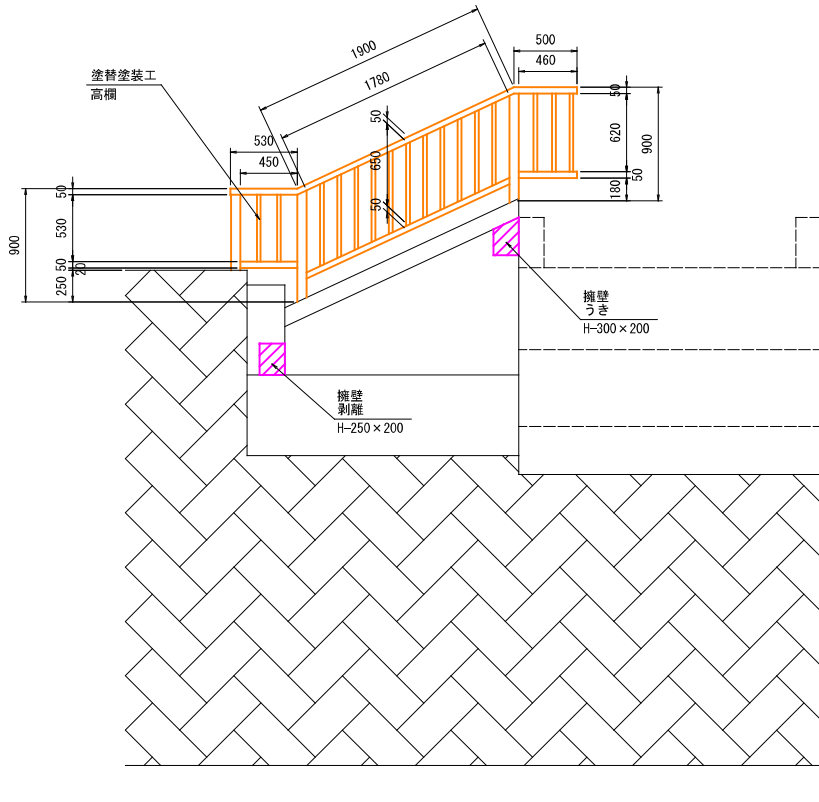
表 示	損 傷 状 況	補修対策工
 幅 - 長さ (mm) (m)	ひび割れ(開口幅0.2mm以上)	ひび割れ注入工
 縦 × 横 (mm) (mm)	H-剥離、U-うき	断面修復工
 腐食・防食機能の劣化		塗替塗装工
 腐食(孔食)		高欄取替工

鋼部材：全体的に防食機能の劣化

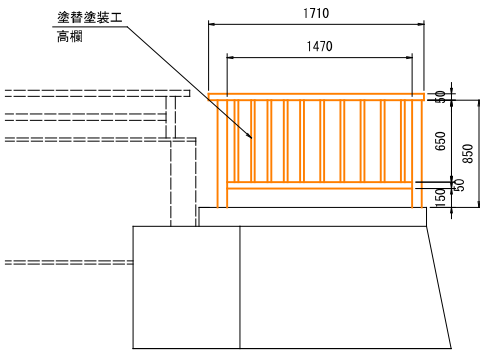
平 面 図 S=1:30



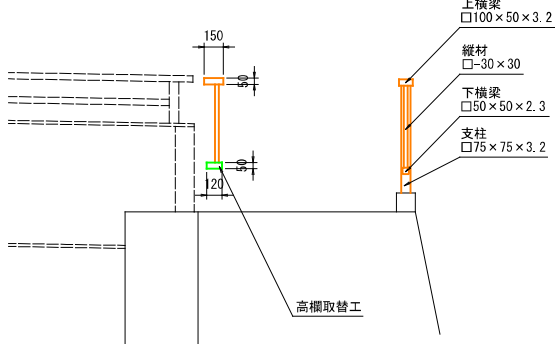
D - D S=1:30



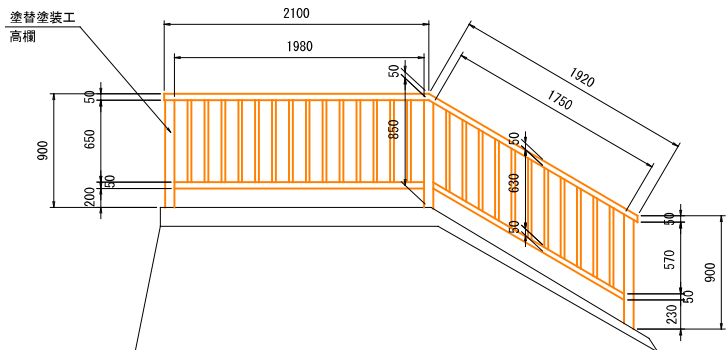
A - A S=1:30



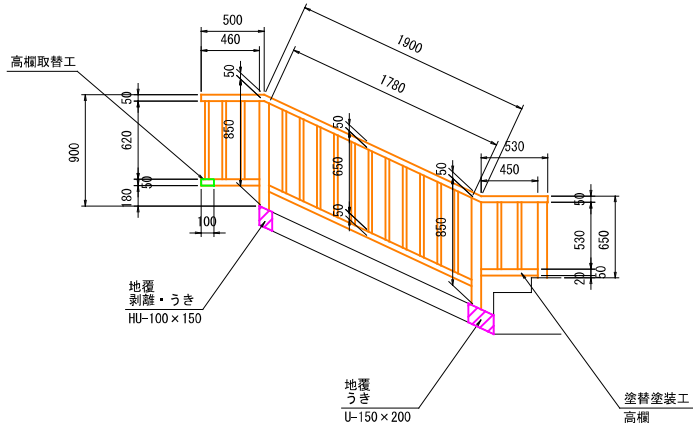
E - E S=1:30



B - B S=1:30



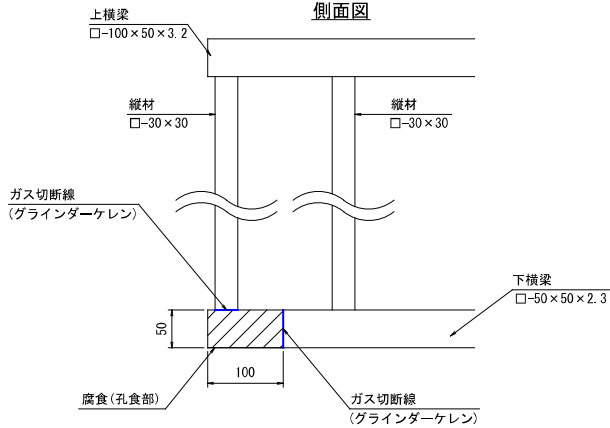
C - C S=1:30



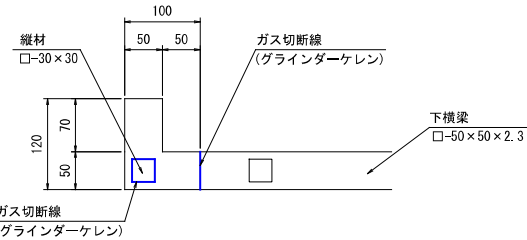
高欄取替工 S=1:5
(下横梁：孔食部)

<撤去>

側面図

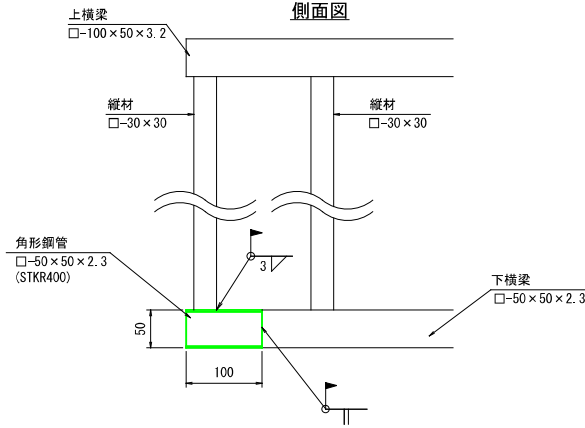


平面図

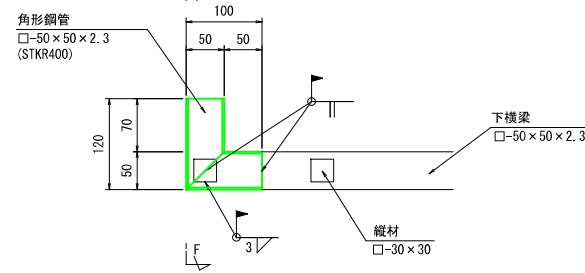


<設置>

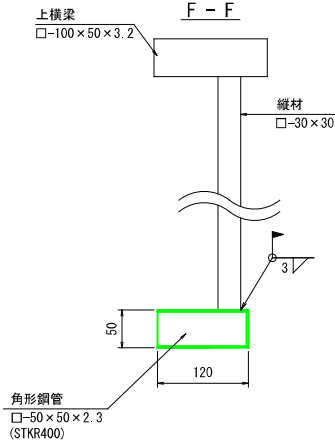
側面図



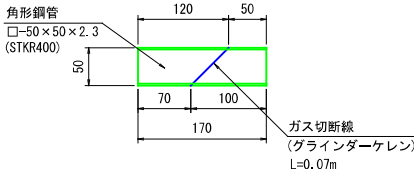
平面図



F - F



角形鋼管詳細図



注) 1. 実施工においては、構造寸法等再調査の上、図面整合等確認のち施工を行うこと。
2. 施工時に発生する粉塵や酸及び補修材料が、河川や周辺環境に影響しないよう適切な防護等を行うこと。

参 考 資 料

－橋梁補修工事（市道明神12号線1号橋梁（親子橋））－

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.07.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
現場塗装工 床板（デッキプレート）、主桁、横桁、 横構、補剛材、支承	1	式			Y1G0325 レベル2
橋梁塗装剥離工	1	式			Y1G032501 レベル3
塗膜除去 塗膜除去	190	m2			Y1G03250101 レベル4
塗膜除去費	190	m2			V000002001 00
塗膜除去 廃材の収集・運搬	1	車			単第0 -0001 表 F200000010 00
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
塗膜除去 廃材の処分費	470	kg			F200000011 00

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁塗装工					Y1G011601 レベル3
	1	式			
素地調整 2種ケレン相当					Y1G03250101レベル4
	190	m2			
素地調整2ケレン					V000002002 00
	190	m2			単第0 -0002 表
下塗り塗装（ 1 回目 ） 無溶剤型さび安定化塗料					Y1G03250102レベル4
	190	m2			
下塗り塗装					V000002003 00
	190	m2			単第0 -0003 表
下塗り塗装（ 2 回目 ） 無溶剤型さび安定化塗料					Y1G03250102レベル4
	190	m2			
下塗り塗装					V000002003 00
	190	m2			単第0 -0003 表
中塗り塗装 無機系塗料					Y1G03250104レベル4
	190	m2			
中塗り・上塗り塗装					V000002004 00
	190	m2			単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上塗り塗装 無機系塗料	190	m2			Y1G03250104レベル4
中塗り・上塗り塗装	190	m2			V000002004 00
橋梁補修工	1	式			単第0 -0004 表 Y1G0324 レベル2
当て板工 横桁	1	式			Y1G032403 レベル3
現場溶接鋼桁補強 鋼材重量(角形鋼管)	1	式			Y1G03240301レベル4
工場製作 PL t=10(SM400A)	3	kg			F000004200 00
工場溶接 6mm換算	0.3	m			SPK24040320 00 単第0 -0005 表
現場溶接 6mm換算	0.4	m			SPK24040320 00 単第0 -0006 表
素地調整 1種ケレン(ブラスト法) 研削材及びケレンかす回収・積込工	0.07	m2			Y1G01160101レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 素地調整	0.07	m2			SDT00029 00 単第0 -0007 表
塗替塗装 研削材及びケレンかす回収・積込工	0.07	m2			SDT00029 00 単第0 -0008 表
下地処理 有機ジンクリッチペイント はけ・ローラー 300g×2回/層	0.07	m2			Y1G01130301レベル4
塗替塗装 下塗り塗装 有機ジンクリッチペイント はけ・ローラー 300g×2回/層	0.07	m2			SDT00029 00 単第0 -0009 表
下塗 下塗り塗装 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)	0.05	m2			Y1A04010802レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	0.05	m2			SDT00029 00 単第0 -0010 表
中塗 中塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用	0.05	m2			Y1A04090102レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	0.05	m2			SDT00029 00 単第0 -0011 表
上塗 上塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	0.05	m2			Y1A04090103レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 上塗り塗装	0.05	m2			SDT00029 00 単第0 -0012 表
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 土木補修用エポキシ樹脂注入材1種	1	構造物			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0013 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【ポリマーセメントモルタル】 (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020043 00 単第0 -0014 表
殻運搬 【コンクリート殻】	0.03	m3			Y1A01030202 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	0.03	m3			SPK24040151 00 単第0 -0015 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 【コンクリート殻】	0.03	m3			Y1A01030203レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻受入費	0.1	t			F000004000 00
伸縮継手工	1	式			Y1G032101 レベル3
鋼・ゴム製伸縮装置補修 【目地処理 高機能止水材】 【シール材 シリコン系】	3.8	m			Y1G03210103レベル4
目地処理工 高機能止水材 シール材 シリコン系	3.8	m			V000000200 00
高欄補修工 高欄	1	式			単第0 -0016 表 Y1A041105 レベル3
清掃・水洗い 清掃・水洗い	22	m2			Y1M02160301レベル4
塗替塗装 清掃・水洗い	22	m2			SDT00029 00 単第0 -0017 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
素地調整 3種ケレンA	22	m2			Y1G01160101レベル4
塗替塗装 素地調整	22	m2			SDT00029 00 単第0 -0018 表
下塗（3層） 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(3層)	22	m2			Y1A04010802レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	22	m2			SDT00029 00 単第0 -0019 表
塗替塗装 下塗り塗装	22	m2			SDT00029 00 単第0 -0019 表
塗替塗装 下塗り塗装	22	m2			SDT00029 00 単第0 -0019 表
中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 淡彩	22	m2			Y1A04090102レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	22	m2			SDT00029 00 単第0 -0011 表
上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 淡彩	22	m2			Y1A04090103レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 上塗り塗装	22	m2			SDT00029 00 単第0 -0012 表
排水施設工	1	式			Y1G032103 レベル3
排水桝 【SUS304】 4箇所分	1	式			Y1G03210301 レベル4
ガス切断切削仕上工 グラインダーケレン	4.3	m			V000000600 00 単第0 -0020 表
排水装置取替工 SUS304 4箇所分	1	式			V000000300 00 単第0 -0021 表
舗装工	1	式			Y1G0204 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G020402 レベル3
舗装版破碎(小規模) 【As舗装】	32	m2			Y1G02040203 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	32	m2			SPK24040018 00 単第0 -0022 表

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 【As殻】	0.9	m3			Y1G02040205レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)	0.9	m3			SPK24040151 00 単第0 -0023 表
殻処分 【As殻】	0.9	m3			Y1G02040206レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As殻受入費	2	t			F000000100 00
薄層カラー舗装 【樹脂モルタル舗装工・t=8mm】	32	m2			Y1G02040607レベル4
モルタル練 高炉	0.7	m3			SPK24040154 00 単第0 -0024 表
樹脂モルタル舗装工 厚6mm超え8mm以下 [規]50m2未満	32	m2			SS000215 00 単第0 -0025 表
階段部補修工	1	式			Y1G0321 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 土木補修用エポキシ樹脂注入材1種	1	構造物			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0026 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【ポリマーセメントモルタル】 (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020043 00 単第0 -0027 表
殻運搬 【コンクリート殻】	0.01	m3			Y1A01030202 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	0.01	m3			SPK24040151 00 単第0 -0015 表
殻処分 【コンクリート殻】	0.01	m3			Y1A01030203 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート殻受入費	0.02	t			#0041 F000004000 00
高欄補修工 高欄（A1階段部）	1	式			Y1A041105 レベル3
清掃・水洗い 清掃・水洗い	10	m2			Y1M02160301レベル4
塗替塗装 清掃・水洗い	10	m2			SDT00029 00 単第0 -0017 表
素地調整 3種ケレンA	10	m2			Y1G01160101レベル4
塗替塗装 素地調整	10	m2			SDT00029 00 単第0 -0018 表
下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)	10	m2			Y1A04010802レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	10	m2			SDT00029 00 単第0 -0010 表

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 淡彩	10	m2			Y1A04090102レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	10	m2			SDT00029 00 単第0 -0011 表
上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 淡彩	10	m2			Y1A04090103レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	10	m2			SDT00029 00 単第0 -0012 表
橋梁用高欄工 下横梁取替材（A1階段部）	1	式			Y1A041605 レベル3
高欄取替工 【グラインダーケレン】	1	式			Y1G01160101レベル4
ガス切断切削仕上工 グラインダーケレン	0.3	m			V000000600 00 単第0 -0020 表
既設部材撤去	0.6	kg			V000000700 00 単第0 -0028 表
工場製作 鋼材重量(角形鋼管)	0.6	kg			F000004200 00

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ガス切断切削仕上工 グラインダーケレン	0.2	m			V000000600 00 単第0 -0020 表
現場溶接 6mm換算	0.7	m			SPK24040320 00 単第0 -0006 表
素地調整 1種ケレン(ブラスト法) 研削材及びケレンかす回収・積込工	0.04	m2			Y1G01160101レベル4
塗替塗装 素地調整	0.04	m2			SDT00029 00 単第0 -0029 表
塗替塗装 研削材及びケレンかす回収・積込工	0.04	m2			SDT00029 00 単第0 -0008 表
下地処理 有機ジンクリッチペイント はけ・ローラー 300g×2回/層	0.04	m2			Y1G01130301レベル4
塗替塗装 有機ジンクリッチペイント はけ・ローラー 300g×2回/層	0.04	m2			SDT00029 00 単第0 -0030 表
下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層)	0.04	m2			Y1A04010802レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	0.04	m2			SDT00029 00 単第0 -0010 表

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 淡彩	0.04	m2			Y1A04090102レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	0.04	m2			SDT00029 00 単第0 -0011 表
上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 淡彩	0.04	m2			Y1A04090103レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	0.04	m2			SDT00029 00 単第0 -0012 表
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y1G032810 レベル3
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満	38	m2			S3030011 00 単第0 -0031 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔	38	m2			S3030013 00 単第0 -0032 表
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔	38	m2			S3030015 00 単第0 -0033 表

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
剥離用養生シート工費					F000004300 00
	1	式			
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
	4	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	4	人			
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
塗膜溶出試験 鉛、六価クロム、PCB					F000004400 00
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安全費					Z0009
安全費					YZZ09 レベル2
安全費	1	式			YZZ09001 レベル3
塗装作業安全対策費	1	式			V000000400 00
	1	式			単第0 -0034 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

頁0 -0018

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

施工単価表

塗膜除去費

V000002001

単第0 -0001 表

頁0 -0019

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜剥離材	208	kg			
橋りょう世話役	5.91	人			
橋りょう塗装工	17.72	人			
普通作業員	5.6	人			
塗膜剥離材機械器具損料	1	式			
塗膜剥離材消耗品費	1	式			
*** 合計 ***	190	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0020

素地調整2ケレン

V000002002

單第0 -0002 表

190

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

下塗り塗装

V000002003

單第0 -0003 表

190

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

中塗り・上塗り塗装

V000002004

單第0 -0004 表

190

m2

当り

[illegible]

施工単価表

工場溶接
6mm換算
機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 10,666.00000

SPK24040320 単第0 -0005 表 1 m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
溶接工	78.99%		溶接工		RTPC00019 RTPT00019
土木一般世話役	16.25%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 すみ肉脚長6mm					

施工単価表

現場溶接
6mm換算
機械構成比：0.00% 労務構成比：100.00% 材料構成比：0.00% 市場単価構成比：0.00% 標準単価：10,666.00000

SPK24040320 単第0 -0006 表 1 m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
溶接工	78.99%		溶接工		RTPC00019 RTPT00019
土木一般世話役	16.25%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 すみ肉脚長6mm					

施工単価表

頁0 -0025

塗替塗装
素地調整

SDT00029

單第0 -0007 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

塗替塗装

SDT00029

單第0 -0008 表

研削材及びケレンかす回収・積込工

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

塗替塗装

SDT00029

單第0 -0009 表

下塗り塗装 有機ジンクリッチペイント

はけ・ローラー

300g × 2回 / 層

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0010 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

單第0 -0011 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

塗替塗装
上塗り塗装

SDT00029

單第0 -0012 表

1 m2 当日

[illegible]

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0013 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
注入材 エポキシ樹脂注入材1種	0.080	kg			
シール材 エポキシ樹脂系	0.548	kg			
低圧注入器	5.000	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=3 【F】低圧注入器具(個)			B=0.08 注入材の必要数量(kg/構造物) D=0.4 シール材の設計数量(kg/構造物) F=5 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		

施工単価表

頁0 -0032

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)

S1020043

單第0 -0014 表

構造物 当り

修復延べ体積0.1m3未満の場合

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			
特殊作業員	3.200	人			
普通作業員	2.100	人			
ポリマーセメントモルタル	0.035	m3			
諸雑費	9	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=4 【F】断面修復材(m3)			B=0.03	断面修復材の設計数量(m3/構造物)	

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

単第0 -0015 表

1
標準単価: 1,480.70000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

目地処理工
高機能止水材

V000000200

単第0 -0016 表

3.8 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
高機能止水材 プライマー材込み	4	m			
シール材 シリコン系	4.4	L			
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
ハンドカッター モータ式	1	台			
発電機	1	日			
電動ブレーカー	1	台			
ダンプトラック	1	台			
雑品	5	%			#01
諸雑費	10	%			#02
*** 合計 ***	3.8	m			

施工単価表

頁0 -0035

目地処理工 高機能止水材

V000000200
シール材 シリコン系

單第0 -0016 表

3.8 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

塗替塗装
清掃・水洗い

SDT00029

單第0 -0017 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

塗替塗装
素地調整

SDT00029

單第0 -0018 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0019 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

ガス切断切削仕上工 グライNDERケレン

V000000600

單第0 -0020 表

2.8 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

排水装置取替工
SUS304

V000000300

單第0 -0021 表

式 当り

4箇所分

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK24040018

単第0 -0022 表

機械構成比: 20.80% 労務構成比: 71.28% 材料構成比: 7.92% 市場単価構成比: 0.00% 1 標準単価: m2 当り 1,690.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35% 材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)

単第0 -0023 表
1
標準単価: 5,232.90000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=31 運搬距離7.0km以下(5.5km超)		

施工単価表

頁0 -0043

モルタル練
高炉

SPK24040154

単第0 -0024 表

1
標準単価： m3 当り
94,888.00000

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 83.30% 材料構成比： 16.70% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0044

樹脂モルタル舗装工

SS000215

單第0 -0025 表

厚6mm超え8mm以下

[規]50m²未滿

m2

当り

[illegible]

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0026 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
注入材 エポキシ樹脂注入材1種	0.100	kg			
シール材 エポキシ樹脂系	0.274	kg			
低圧注入器	3.000	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=3 【F】低圧注入器具(個)			B=0.1 注入材の必要数量(kg/構造物) D=0.2 シール材の設計数量(kg/構造物) F=3 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		

施工単価表

断面修復工(左官工法)		S1020043		単第0 -0027 表		1		構造物 当り	
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)		修復延べ体積0.1m3未満の場合							
名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考			
土木一般世話役		1.900	人						
特殊作業員		3.200	人						
普通作業員		2.100	人						
ポリマーセメントモルタル		0.012	m3						
諸雑費		9	%			#09			
*** 単位当たり ***		1	構造物						
A=4	【F】断面修復材(m3)			B=0.01	断面修復材の設計数量(m3/構造物)				

施工単価表

頁0 -0047

既設部材撤去

V000000700

單第0 -0028 表

1 kg 当り

kg 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0048

塗替塗装
素地調整

SDT00029

單第0 -0029 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

塗替塗装		SDT00029		単第0 -0030 表		1		m2		当り	
有機ジンクリッチペイント		はけ・ローラー		300g×2回/層							
名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考					
昼間_塗替塗装【材工共】											
下塗り_有機ジンクリッチペイント(2回/層)		1.000	m2								
はけ・ローラー,時間的制約なし											
諸雑費		1	式								
*** 単位当たり ***		1	m2								
A=1	昼間施工			B=4	下塗り塗装						
D=5	有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層)			H=1	-						
I=1	時間的制約なし										

施工単価表

頁0 -0050

足場工(床版補強工)

S3030011

單第0 -0031 表

桁高1.5m未満

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0051

足場工（朝顔）（床版補強工）
両側朝顔

S3030013

單第0 -0032 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0052

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0033 表

シート張防護工

両側朝顔

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0053

塗装作業安全対策費

V000000400

單第0 -0034 表

式 当り

[illegible]

数量計算書

工 種	種別・細別	規格・仕様		単位	数 量				積算表示		備考
					上部工	下部工	路上	合計	数値	数値	
塗替塗装工	さび安定化防錆工法	塗装面積(上部工・支承)		m ²	186.8	—	—	186.8	190.0	10m2	
		素地調整2種(動力工具、手工具)		m ²	186.8	—	—	186.8	190.0	10m2	
		塗膜除去工		m ²	186.8	—	—	186.8	190.0		
		廃材(鉛等対策, 防護服等含む)		kg	467.1	—	—	467.1	470.0		
		塗装工(下塗～上塗)		m ²	186.8	—	—	186.8	190.0	10m2	
当て板工	工場製作	鋼材重量 PL t=10(SM400A)		kg	3.2	—	—	3.2	3.0	1t未満の場合は0.01t	
	工場溶接	6mm換算		m	0.3	—	—	0.3	0.3	1m	
	塗装工 (F-13塗装系)	素地調整～防食下地		m ²	0.07	—	—	0.07	0.07	100m2未満の場合は1m2	
		下塗～上塗		m ²	0.05	—	—	0.05	0.05	100m2未満の場合は1m2	
	現場溶接	6mm換算		m	0.4	—	—	0.4	0.4	1m	
ひび割れ注入工	低圧注入工法 (注入材1種)	注入延長		m	—	1.3	—	1.3	1.3		
		注入材：土木補修用エポキシ樹脂注入材1種		kg	—	0.08	—	0.08	0.08		ロス率含む
		シーリング材：エポキシ樹脂系		kg	—	0.4	—	0.4	0.4		〃
		低圧注入器具：30cm間隔		個	—	5	—	5	5		
断面修復工 (左官工法)	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない	断面修復材： ポリマーセメントモルタル		m ³	—	0.03	—	0.03	0.03		ロス率含む
				t	—	0.10	—	0.10	0.10		般処理運搬
薄層舗装打替工	As舗装撤去工	舗装版破碎工	t=3cm	m ²	—	—	31.5	31.5	32.0	1000m2未満の場合は1m2	
				m ³	—	—	0.9	0.9	0.9	1m3	般処理運搬
				t	—	—	2.2	2.2	2.0		〃
	薄層カラー舗装工	下地処理工	t=22mm	m ³	—	—	0.7	0.7	0.7	1m2	
		薄層カラー舗装工	t=8mm	m ²	—	—	31.5	31.5	32.0	1000m2未満の場合は1m2	
伸縮装置取替工	高性能止水材			m	—	—	3.8	3.8	3.8	0.1m	
高欄補修工	塗替塗装工	Rc-Ⅲ塗装系		m ²	—	—	21.8	21.8	22.0	1000m2未満の場合は1m2	
排水装置取替工	取替工			箇所	—	—	4	4	4	1箇所	
	鋼材現場ガス切断 (グラインダーケレン)			m	—	—	4.3	4.3	4.3		
	排水装置設置	参考：SUS304		基	—	—	4	4	4	1箇所	

工 種	種別・細別	規格・仕様	単位	数 量						備考
				上部工	下部工	路上	合計			
仮設工 (参考)	吊り足場	桁高1.5m未満 シート張り防護工	m ²	38.0	—	—	38.0	38.0		
		地覆補修用 シート張り防護工	m ²	38.0	—	—	38.0	38.0		
		剥離剤工用 養生シート工費	m ²	38.0	—	—	38.0	38.0		

工 種	種別・細別	規格・仕様	単位	数 量						備考
				上部工	下部工	路上	合計			
ひび割れ注入工	低圧注入工法 (注入材1種)	注入延長	m	—	—	0.7	0.7	0.7	1構造物	
		注入材：土木補修用エポキシ樹脂注入材1種	kg	—	—	0.1	0.1	0.1		ロス率含む
		シーリング材：エポキシ樹脂系	kg	—	—	0.2	0.2	0.2		〃
		低圧注入器具：30cm間隔	個	—	—	3	3	3		〃
断面修復工 (左官工法)	鉄筋ケレン・防錆処理を含まない	断面修復材： ポリマーセメントモルタル	m ³	—	—	0.01	0.01	0.01		ロス率含む
			t	—	—	0.02	0.02	0.02		般処理運搬
高欄補修工	塗替塗装工	Rc-Ⅲ塗装系	m ²	—	—	9.8	9.8	10.0	100m ² 未満の場合は1m ²	
高欄取替工 (孔食部)	取替工		箇所	—	—	1	1	1		
	鋼材現場ガス切断 (クレーンダークレン)		m	—	—	0.3	0.3	0.3		
	鋼材撤去重量		kg	—	—	0.6	0.6	0.6		
	工場製作	鋼材重量(角形鋼管)	kg	—	—	0.6	0.6	0.6	1t未満の場合は0.01t	
	鋼材現場ガス切断 (クレーンダークレン)		m	—	—	0.2	0.2	0.2		
	塗装工 (F-13塗装系)	素地調整～防食下地	m ²	—	—	0.04	0.04	0.04	100m ² 未満の場合は1m ²	
		下塗～上塗	m ²	—	—	0.04	0.04	0.04	100m ² 未満の場合は1m ²	
	現場溶接	6mm換算	m	—	—	0.7	0.7	0.7	1m	

1. 塗替塗装工

1-1. 上部工・支承

(1) 塗替塗装面積

主桁	a1	=	(	1.000	+	0.200	)	×	20.970	×	2	主桁	=	50.33	m ²					
"	a2	=		0.200	×	20.500	×	2	主桁				=	8.20	m ²					
"	a3	=		0.0925	×	20.970	×	2	面	×	2	主桁	=	7.76	m ²					
"	a4	=		0.0925	×	(	20.970	-	0.150	×	10	)								
										×	2	面	2	主桁	=	7.20	m ²			
"	a5	=		0.956	×	0.200	×	2	×	2	主桁		=	0.76	m ²					
"	a6	=		0.160	×	20.970	×	2	主桁				=	6.71	m ²					
"	a7	=		0.117	×	(	20.970	-	0.150	×	10	)	×	2	主桁	=	4.56	m ²		
"	a8	=		0.446	×	(	20.970	-	0.150	×	10	)	×	2	主桁	=	17.37	m ²		
"	a9	=		0.242	×	(	20.970	-	0.150	×	10	)	×	2	主桁	=	9.42	m ²		
" (高欄)	▲a10	=		0.075	×	0.075	×	12	×	2			=	-0.14	m ²					
[補剛材	a11	=		0.506	×	0.150	×	10	×	2			=	1.52	m ²					
"	a12	=		1/2	×	(	0.446	+	0.506	)	×	0.075								
										×	2	面	×	12	×	2	主桁	=	1.71	m ²
PL補剛材	a13	=		0.956	×	0.090	×	2	面	×	12	×	2	主桁	=	4.13	m ²			
端横桁	a14	=		0.170	m ²	(CADより計測)	×	2					=	0.34	m ²					
"	a15	=	(	0.100	+	0.050	×	2	)	×	1.685	×	2		=	0.67	m ²			
" (デッキプレート)	▲a16	=		0.050	×	0.095	×	6	×	2			=	-0.06	m ²					
中間横桁	a17	=		1.535	×	17.10	kg/m	×	0.0323	m ² /kg	×	10		=	8.48	m ²				
" (デッキプレート)	▲a18	=		0.075	×	0.095	×	6	×	10			=	-0.43	m ²					
[補剛材	a19	=		0.034	m ²	(CADより計測)	×	10	×	2			=	0.68	m ²					
"	a20	=		0.075	×	0.242	×	2	面	×	10	×	2		=	0.73	m ²			
デッキプレート	a21	=		2.520	×	20.970							=	52.84	m ²					
" (横桁)	▲a22	=		0.075	×	0.095	×	6	×	10			=	-0.43	m ²					
" (端横桁)	▲a23	=		0.050	×	0.095	×	6	×	2			=	-0.06	m ²					
下横構	a24	=		1.155	×	6.85	kg/m	×	0.0428	m ² /kg										
											×	4	×	3	=	4.06	m ²			
"	a25	=		0.200	×	0.200	×	2	面	×	3		=	0.24	m ²					
支承部	a26	=		0.050	×	(	0.260	+	0.200	×	2	)	×	4	=	0.13	m ²			
支承部(天端)	a27	=		0.030	×	0.200	×	2	×	4			=	0.05	m ²					
支承部(M27)	a28	=		0.008	m ²	(CADより計測)	×	2	×	4			=	0.06	m ²					
														ΣA	=	186.83	m ²			

(2) 洗浄・清掃・素地調整

1) 素地調整2種(動力工具、手工具)

$$A = (\text{塗替塗装面積と同じ}) = 186.83 \text{ m}^2$$

2) 塗膜除去工

$$A = (\text{塗替塗装面積と同じ}) = 186.83 \text{ m}^2$$

3) 廃材(鉛等対策, 防護服等含む)

参考重量: 2.5kg/m²

$$W = 186.83 \text{ m}^2 \times \frac{2.5}{\text{(参考)}} \text{ kg/m}^2 = 467.08 \text{ kg}$$

(3) 塗装工

(下塗～上塗)

$$A = (\text{塗替塗装面積と同じ}) = 186.83 \text{ m}^2$$

$$\begin{array}{rcl} \text{(当て板)} \blacktriangle A & = & 0.075 \times 0.200 \\ & & \underline{\hspace{1.5cm}} \\ \Sigma A & = & 186.81 \text{ m}^2 \end{array}$$

2. 当て板工(孔食部)

(1) 工場製作 (鋼材重量)

・鋼材表

種 別	材 質	断面寸法	長 さ	個 数	1個当り質量	質 量	備 考
当て板							
PL	SM400A	75 × 10	200	1	1.57	1.6	7.85 kg/m
PL	SM400A	50 × 10	200	1	1.57	1.6	7.85 kg/m
			合計	2個		3.2 kg	

・鋼材重量

PL t=10 (SM400A) W = 3.2 kg

(2) 工場溶接

(6mm換算)

溶接ヶ所	記号	サイズ	計 算	両辺	数量	6mm換算	溶接延長	備考
PL~PL		5	$0.200 \times 2 - 0.020 = 0.380$	1	1	0.694	0.26	
合計							0.26 m	

(3) 涂装工

(F-13塗装系)

溶接部の塗装仕様 (F-13塗装系)

塗装系	塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)	目 標 塗 膜 (μm)	塗装間隔
F-13	現 場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa2 1/2		4時間以内
防食下地		有機ジンクリッチペイント	600 (300×2)	75	1日～10日
下 塗		変性エポキシ樹脂塗料下塗	240 (200)	60	1日～10日
下 塗		変性エポキシ樹脂塗料下塗	240 (200)	60	1日～10日
中 塗		ふっ素樹脂塗料用中塗	170 (140)	30	1日～10日
上 塗		ふっ素樹脂塗料上塗	140 (120)	25	

※ 鋼道路橋防食便覧（平成26年3月）日本道路協会より

・素地調整～防食下地

$$A = 2 \times W / (7.85 \times t)$$

$$= 2 \times 3.2 \text{ kg} / (7.85 \times 12) = 0.068 \text{ m}^2$$

・下塗～上塗

A = (素地調整～防食下地と同じ) = 0.068 m²

$$\text{(接触面)} \quad \Delta A = (0.075 + 0.030) \times 0.200 = -0.021 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 0.047 \text{ m}^2$$

(4) 現場溶接

(6mm換算)

[illegible]

3. ひび割れ注入工 (低圧注入工法)

3-1. 下部工

(土木補修用エポキシ樹脂注入材1種)

※ ひび割れ深さは、平均10cmと仮定し算出を行う。

※ 遊離石灰を伴うひび割れのひび割れ幅は、0.2～0.5mmと仮定し算出を行う。

符号	平均ひび割れ幅 mm	ひび割れ長 m	推定ひび割れ深さ mm	ひび割れ 本数	ひび割れ延長 m	ひび割れ注入量 m ³	備 考
1	0.35	0.85	100	1	0.85	0.000030	A2橋台
2	0.70	0.40	100	1	0.40	0.000028	〃
合計				2	1.25	0.000058	

・ ひび割れ延長

$$L = 1.25 = 1.25 \text{ m}$$

・ 注入材 (1200kg/m³)

$$W = 0.000058 \text{ m}^3 \times 1200 \text{ kg/m}^3 \times \frac{1.15}{\text{ロス率}} = 0.08 \text{ kg}$$

・ シール材 (1700kg/m³)

$$W = \frac{0.050 \times 0.003}{\text{シール断面積}} \times \frac{1.25}{\text{ひび割れ延長}} \times 1700 \text{ kg/m}^3 \times \frac{1.37}{\text{ロス率}} = 0.44 \text{ kg}$$

・ 低圧注入器具

$$N = \frac{1.25}{\text{ひび割れ延長}} \div \frac{0.30}{\text{平均設置間隔}} = 5 \text{ 個}$$

※ロス率：土木工事標準積算基準書より

4. 断面修復工 (左官工法)

4-1. 下部工

(鉄筋ケレン・防錆処理を含まない)

※ 断面修復深さは、平均5cmと仮定し算出を行う。

符号	計 算	箇所	面積(m ²)	体積(m ³)	備考
1	0.25 × 0.05 × 0.30	1	0.075	0.0038	A1橋台(胸壁天端)
2	0.30 × 0.05 × 1.50	1	0.450	0.0225	A2橋台(沓座)
合計			0.525	0.0263	

・ 断面修復材（無機系：ポリマーセメントモルタル）

$$V = 0.0263 \text{ m}^3 \times \frac{1.18}{\text{ロス率}} = 0.03 \text{ m}^3$$

・ 殻処理運搬（コンクリート）

$$W = 0.0300 \text{ m}^3 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.10 \text{ t}$$

※ロス率：土木工事標準積算基準書より

5. 薄層舗装打替工

5-1. As舗装撤去工

(1) 舗装版破碎工(舗装厚推定：t=3cm)

$$A = 20.970 \times 1.500 = 31.46 \text{ m}^2$$

(殻処理運搬：アスファルト)

$$V = 31.46 \text{ m}^2 \times 0.030 \text{ (舗装厚)} = 0.94 \text{ m}^3$$

$$W = 0.94 \text{ m}^3 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 2.21 \text{ t}$$

5-2. 薄層舗装工

(1) 下地処理工

(調整モルタル：t=22mm)

$$V = 20.970 \times 1.500 \times 0.022 = 0.69 \text{ m}^3$$

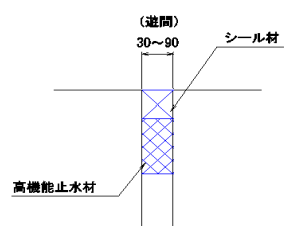
(2) 薄層カラー舗装工

(樹脂モルタル舗装：t=8mm)

$$A = (\text{As舗装撤去工と同じ}) = 31.46 \text{ m}^2$$

6. 伸縮装置取替工

(参考：高機能止水材)



(1) A1部(遊間30～90mm)

L1 = (全幅員と同じ)

= 1.90 m

(2) A2部(遊間60～80mm)

L2 = (全幅員と同じ)

= 1.90 m

ΣL = 3.80 m

7. 高欄補修工

(鋼製)

7-1. 塗替塗装工

(Rc-Ⅲ塗装系)

塗替塗装仕様 (Rc-Ⅲ 塗装系)

塗装系	塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
Rc-Ⅲ	素地調整	3 種		4時間以内
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (鋼板露出部のみ)	(200)	1日～10日
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	1日～10日
	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	2日～10日

(1) 高欄

$$\begin{array}{lcl}
 \text{上横梁} & a1 = 20.950 \times 7.01 \text{ kg/m} \times 0.0412 \text{ m}^2/\text{kg} \times 2 & = 12.10 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (支柱)} \blacktriangle & a2 = 0.075 \times 0.075 \times 12 \text{ 本} \times 2 & = -0.14 \text{ m}^2 \\
 \text{上横梁妻部} & a3 = 0.100 \times 0.050 \times 2 \text{ 面} \times 2 & = 0.02 \text{ m}^2 \\
 \text{下横梁} & a4 = (1.275 + 1.925 \times 9 + 1.225) \times 3.34 \text{ kg/m} \times 0.0576 \text{ m}^2/\text{kg} \times 2 & = 7.63 \text{ m}^2 \\
 \text{支柱} & a5 = 0.330 \times 7.01 \text{ kg/m} \times 0.0412 \text{ m}^2/\text{kg} \times 12 \times 2 & = 2.29 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (下横梁)} \blacktriangle & a6 = 0.050 \times 0.050 \times 22 \times 2 & = -0.11 \text{ m}^2 \\
 & \Sigma A & = 21.79 \text{ m}^2
 \end{array}$$

8. 排水装置取替工

(1) 排水装置撤去

N =

=

4 箇所

(2) 鋼材現場ガス切断（グラインダーケレン）

（デッキプレート t=3.2mm）

L = (0.340 + 0.200) × 2 面 × 4 箇所

=

4.32 m

(3) 排水装置設置

N = （排水装置撤去と同じ）

=

4 基

9. 仮設工（参考）

9-1. 吊り足場

（桁高1.5m未満、シート張り防護工）

$$A = \frac{1.900}{\text{全幅員}} \times \frac{20.000}{\text{足場必要長}} = 38.00 \text{ m}^2$$

（地覆補修用、シート張り防護工）

$$A = \frac{1.900}{\text{全幅員}} \times \frac{20.000}{\text{足場必要長}} = 38.00 \text{ m}^2$$

（剥離剤工用養生シート工費）

$$\begin{aligned} \text{工費} &= (502 + (0.015 \times 1.1 \times 1.3 \times 31300 \times 1.05)) \times 38 \times 1 \\ &= 46,818 \text{ 円} \end{aligned}$$

4.21.5 施工歩掛

1. 湿式塗膜剥離剤工用養生シート工

湿式塗膜剥離剤工用養生シートは、塗替塗装用足場のみでは行えない剥離塗膜及び有害物質の飛散、拡散防止を目的とした養生設備である。

養生設備に使用する材料はシート張り防護工（両側朝顔）と同等のものを使用することとする。

なお、養生シートは剥離剤及び剥離塗膜が足場設備等に付着するのを防止するための設備であり、剥離した塗膜と共に廃棄物処理とする。

本養生設備は補修用足場（4.2補修用足場工）の設備に追加する。

有害物質含有塗膜などの現場環境からシート張り防護以上の設備（環境対策設備）が必要となった場合は別途計上する。（4.21.6.2.「有害物含有塗膜除去時に使用する環境対策資機材及び安全衛生保護具費用の一例」参照）

剥離用養生シート工費 = $\{S + (N \times k_1 \times k_2) \times y\} \times A \times n$ (円)

S：損料係数（全損：下表）

N：組立解体歩掛係数（下表）

y：橋りょう特殊工単価（円／人）

k₁：現場環境条件による補正係数（付表-1）

k₂：極小面積の場合の補正（1.3）

A：剥離剤工用養生シート必要面積（足場面積と同じとする）

A = W × L

W：全幅員（m）

L：橋長または必要長（m）

n：塗膜剥離回数

表 4-21-1 湿式塗膜剥離剤工用養生シート工(養生シート設置・撤去 1 回 1 m²あたり)

種類	S	N
剥離剤工用養生シート工	中段足場養生無し	0.015
	中段足場養生有り	0.020

注) 1. 本歩掛は床面用及び朝顔用、中段足場用の養生シートのみとする。
2. 塗膜剥離回数分計上する。
3. 中段足場を設置しない場合は、「中段足場養生無し」の係数を用いることとする。

付表-1 現場環境条件による補正係数 (k₁)

環境	係数
一般用地内・河川高水敷部等	1.0
足場を設置する橋梁路面からの足場材を搬入・搬出を必要とする場合	1.1
主要道路上・鉄道上	1.2

極小面積の場合の補正

1 箇所あたりの平均足場設置面積が50m²未満の場合は設置撤去歩掛の補正を行う。
設置撤去の補正係数 k₂=1.3 とする。

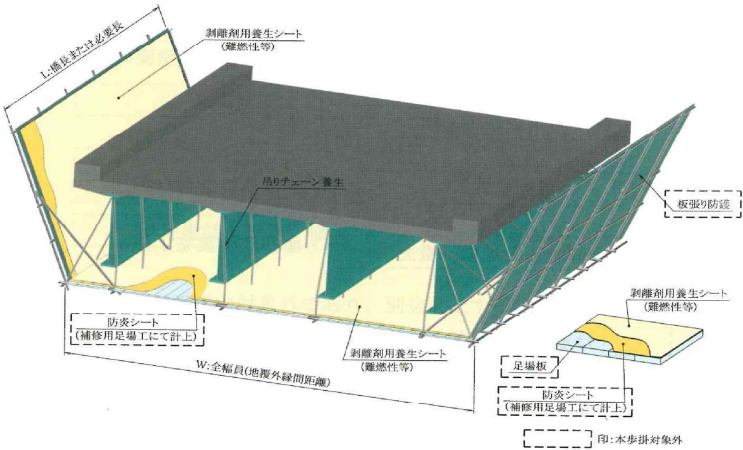


図 4-21-3 剥離剤工用養生設備図

10. A1階段部補修工

10-1. ひび割れ注入工

(低圧注入工法)

(1) 階段部

(土木補修用エポキシ樹脂注入材1種)

※ ひび割れ深さは、平均5cmと仮定し算出を行う。

符号	平均ひび割れ幅 mm	ひび割れ長 m	推定ひび割れ深さ mm	ひび割れ本数	ひび割れ延長 m	ひび割れ注入量 m ³	備考
1	1.00	0.35	50	1	0.35	0.000018	Co舗装
2	3.00	0.35	50	1	0.35	0.000053	〃
合計				2	0.70	0.000071	

・ ひび割れ延長

$$L = 0.70 \quad = \quad 0.70 \text{ m}$$

・ 注入材 (1200kg/m³)

$$W = 0.000071 \text{ m}^3 \times 1200 \text{ kg/m}^3 \times \frac{1.15}{\text{ロス率}} = 0.10 \text{ kg}$$

・ シール材 (1700kg/m³)

$$W = \frac{0.050 \times 0.003}{\text{シール断面積}} \times \frac{0.70}{\text{ひび割れ延長}} \times 1700 \text{ kg/m}^3 \times \frac{1.37}{\text{ロス率}} = 0.24 \text{ kg}$$

・ 低圧注入器具

$$N = \frac{0.70}{\text{ひび割れ延長}} \div \frac{0.30}{\text{平均設置間隔}} = 3 \text{ 個}$$

※ロス率：土木工事標準積算基準書より

10-2. 断面修復工

(左官工法)

(1) 階段部

(鉄筋ケレン・防錆処理を含まない)

※ 断面修復深さは、平均3cmと仮定し算出を行う。

符号	計 算					箇所	面積(㎡)	体積(㎡³)	備考
1	0.20	×	0.03	×	0.25	1	0.050	0.0015	Co舗装
2	0.25	×	0.03	×	0.35	1	0.088	0.0026	〃
3	0.15	×	0.03	×	0.50	1	0.075	0.0023	地覆
4	0.10	×	0.03	×	0.15	1	0.015	0.0005	〃
5	0.10	×	0.03	×	0.15	1	0.015	0.0005	〃
6	0.15	×	0.03	×	0.20	1	0.030	0.0009	〃
7	0.25	×	0.03	×	0.20	1	0.050	0.0015	擁壁
8	0.30	×	0.03	×	0.20	1	0.060	0.0018	〃
合計							0.383	0.0116	

- ・断面修復材（無機系：ポリマーセメントモルタル）

$$V = 0.0116 \text{ m}^3 \times \frac{1.18}{\text{ロス率}} = 0.01 \text{ m}^3$$

- ・殻処理運搬（コンクリート）

$$W = 0.0100 \text{ m}^3 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.02 \text{ t}$$

※ロス率：土木工事標準積算基準書より

10-3. 塗替塗装工

（Rc-Ⅲ塗装系）

塗替塗装仕様（Rc-Ⅲ塗装系）

塗装系	塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
Rc-Ⅲ	素地調整	3 種		4時間以内
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (銅板露出部のみ)	(200)	1日～10日
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	2日～10日
	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	

(1) 高欄

- ・下流側

$$\begin{aligned}
 \text{上横梁 } a1 &= 1.710 \times 7.01 \text{ kg/m} \times 0.0412 \text{ m}^2/\text{kg} = 0.49 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (縦材) } \blacktriangle a2 &= 0.030 \times 0.030 \times 10 = -0.01 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (支柱) } \blacktriangle a3 &= 0.075 \times 0.075 \times 2 = -0.01 \text{ m}^2 \\
 \text{上横梁妻部 } a4 &= 0.050 \times 0.100 = 0.01 \text{ m}^2 \\
 \text{下横梁 } a5 &= 1.470 \times 3.34 \text{ kg/m} \times 0.0576 \text{ m}^2/\text{kg} = 0.28 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (縦材) } \blacktriangle a6 &= 0.030 \times 0.030 \times 10 = -0.01 \text{ m}^2 \\
 \text{支柱 } a7 &= 0.850 \times 7.01 \text{ kg/m} \times 0.0412 \text{ m}^2/\text{kg} \times 2 = 0.49 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (下横梁) } \blacktriangle a8 &= 0.050 \times 0.050 \times 2 = -0.01 \text{ m}^2 \\
 \text{縦材 } a9 &= 0.030 \times 0.650 \times 4 \text{ 面} \times 10 = 0.78 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

- ・道路側

$$\begin{aligned}
 \text{上横梁 } a10 &= (2.100 + 1.920) \times 7.01 \text{ kg/m} \times 0.0412 \text{ m}^2/\text{kg} = 1.16 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (縦材) } \blacktriangle a11 &= 0.030 \times 0.030 \times 25 = -0.02 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (支柱) } \blacktriangle a12 &= 0.075 \times 0.075 \times 3 = -0.02 \text{ m}^2 \\
 \text{上横梁妻部 } a13 &= 0.050 \times 0.100 = 0.01 \text{ m}^2 \\
 \text{下横梁 } a14 &= (1.980 + 1.750) \times 3.34 \text{ kg/m} \times 0.0576 \text{ m}^2/\text{kg} = 0.72 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (縦材) } \blacktriangle a15 &= 0.030 \times 0.030 \times 25 = -0.02 \text{ m}^2 \\
 \text{支柱 } a16 &= 0.850 \times 7.01 \text{ kg/m} \times 0.0412 \text{ m}^2/\text{kg} \times 3 = 0.74 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (下横梁) } \blacktriangle a17 &= 0.050 \times 0.050 \times 4 = -0.01 \text{ m}^2 \\
 \text{縦材 } a18 &= 0.030 \times 0.650 \times 4 \text{ 面} \times 14 = 1.09 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 } a19 &= 0.030 \times 0.630 \times 4 \text{ 面} \times 11 = 0.83 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

・河川側

$$\begin{aligned}
 \text{上横梁 } a20 &= (0.530 + 1.900 + 0.500 + 0.150) \times 7.01 \text{ kg/m} \times 0.0412 \text{ m}^2/\text{kg} = 0.89 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (縦材) } \blacktriangle a21 &= 0.030 \times 0.030 \times 16 = -0.01 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (支柱) } \blacktriangle a22 &= 0.075 \times 0.075 \times 2 = -0.01 \text{ m}^2 \\
 \text{上横梁妻部 } a23 &= 0.050 \times 0.100 \times 2 = 0.01 \text{ m}^2 \\
 \text{下横梁 } a24 &= (0.450 + 1.780 + 0.460 - 0.100) \times 3.34 \text{ kg/m} \times 0.0576 \text{ m}^2/\text{kg} = 0.50 \text{ m}^2 \\
 \text{支柱 } a25 &= 0.900 \times 7.01 \text{ kg/m} \times 0.0412 \text{ m}^2/\text{kg} \times 2 = 0.52 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 } a26 &= 0.650 \times 7.01 \text{ kg/m} \times 0.0412 \text{ m}^2/\text{kg} = 0.19 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 (下横梁) } \blacktriangle a27 &= 0.050 \times 0.050 \times 5 = -0.01 \text{ m}^2 \\
 \text{縦材 } a28 &= 0.030 \times 0.530 \times 4 \text{ 面} \times 2 = 0.13 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 } a29 &= 0.030 \times 0.650 \times 4 \text{ 面} \times 11 = 0.86 \text{ m}^2 \\
 \text{〃 } a30 &= 0.030 \times 0.620 \times 4 \text{ 面} \times 3 = 0.22 \text{ m}^2 \\
 \hline
 \Sigma A &= 9.78 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

10-4. 高欄取替工(孔食部)

(下横梁)

(1)河川側

1) 取替工

$$N = 1 \text{ 箇所}$$

2) 鋼材現場ガス切断 (グラインダーケレン)

(下横梁□50×50×2.3)

$$\text{下横梁 } L = 0.050 \times 4 + 0.030 \times 4 = 0.32 \text{ m}$$

3) 鋼材撤去重量

$$\begin{aligned}
 \text{下横梁 } w1 &= 0.100 \times 3.34 \text{ kg/m} = 0.3 \text{ kg} \\
 \text{〃 } w2 &= 0.070 \times 3.34 \text{ kg/m} = 0.2 \text{ kg} \\
 \hline
 \Sigma W &= 0.6 \text{ kg}
 \end{aligned}$$

4) 工場製作 (鋼材重量)

・鋼材表

種 別	材 質	断面寸法	長 さ	個 数	1 個当り質量	質 量	備 考
角形鋼管	STKR400	50 × 50 × 2.3	170	1	0.57	0.6	3.34 kg/m
			合計	1	個	0.6	kg

・鋼材重量

$$\square 50 \times 50 \times 2.3 \text{ (STKR400)} \quad W = 0.6 \text{ kg}$$

5) 鋼材現場ガス切断 (グラインダーケレン)

(角形鋼管□50×50×2.3)

$$L = 0.070 \times 2 + 0.050 \times 2 = 0.24 \text{ m}$$

(F-13塗装系)

塗装系	塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)	目標塗膜 (μm)	塗装間隔	
F-13	現場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa2 1/2		4時間以内	
		防食下地	有機ジンクリッチペイント	600 (300×2)	75	1日～10日
		下 塗	変性エポキシ樹脂塗料下塗	240 (200)	60	1日～10日
		下 塗	変性エポキシ樹脂塗料下塗	240 (200)	60	1日～10日
		中 塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	170 (140)	30	1日～10日
		上 塗	ふっ素樹脂塗料上塗	140 (120)	25	1日～10日

- ・素地調整～防食下地

・下塗～上塗

$$\begin{aligned} \mu \text{ (縦材)} \blacktriangle a3 &= 0.030 \quad \times \quad 0.030 &= -0.001 \text{ m}^2 \\ \hline \Sigma A &= 0.036 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

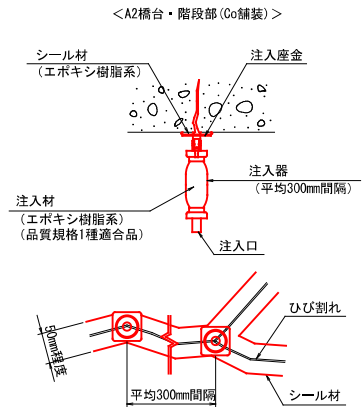
(6mm換算)

[illegible]

図面番号	1 / 3	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁補修工事(市道明神12号線1号橋梁(親子橋))			
種 別	明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修詳細図(1/2)		番 号	1 / 2
路 線 名	市道明神12号線			
工事箇所	三原市明神3丁目 地内			
三 原 市				

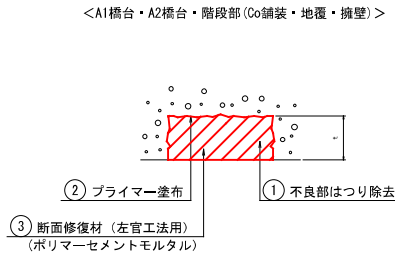
(参考図)

ひび割れ注入工



- ※ シール厚さは約3mm程度とする。
- ※ ひび割れ幅0.2～5.0mmに対して行う。
- ※ ひび割れ深さは、Co舗装は平均5cm、A2橋台は平均10cmと仮定し数量算出を行っている。

断面修復工 (左官工法)



※ 断面修復深さは、平均5cmと仮定し数量算出を行っている。

塗替塗装工 (既設鋼材)

<床版(デッキプレート)、主桁、横桁、横構、補剛材、支承>

塗替塗装仕様(さび安定化防錆工法)

工程	塗布回数 (回)	塗布量 (g/m ²)	標準膜厚 (μm)	希釈率 (%)	養生 (時間)
剥離材塗布・除去(湿式塗膜剥離剤)	1	530	—	—	—
洗浄・清掃	塩分除去、既存堆積物除去				—
素地調整	2 種				4時間以内
下塗(無溶剤型さび安定化塗料)	1	80	2回塗りで130	—	12時間以上
下塗(無溶剤型さび安定化塗料)	1	80		—	12時間～7日
中塗(無機系塗料)	1	100	2回塗りで52	0～10	4時間以上
上塗(無機系塗料)	1	100		0～10	

明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修詳細図(1/2) 参考図

塗替塗装工 (既設鋼材)

<高欄>

塗替塗装仕様 (Rc-Ⅲ塗装系)

塗装系	塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
Rc-Ⅲ	素地調整	3 種		4時間以内
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (鋼板露出部のみ)	(200)	1日～10日
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
	下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
	中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗	140	
	上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	2日～10日

「鋼道路橋防食便覧(平成26年3月)日本道路協会」より

新材塗装工

<当て板材・下横梁取替材(A1階段部)>

塗装仕様 F-13

塗装系	塗装工程	塗 料 名	塗装方法	使用量 (g/m ²)	目標塗膜 (μm)	塗装間隔
F-13	素地調整	プラスト処理 IS0 Sa2 1/2				4時間以内
	防食下地	有機ジンクリッチペイント	スプレー (はけ・ローラー)	600 (300×2)	75	1日～10日
	下 塗	変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー (はけ・ローラー)	240 (200)	60	1日～10日
	下 塗	変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー (はけ・ローラー)	240 (200)	60	1日～10日
	中 塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー (はけ・ローラー)	170 (140)	30	1日～10日
	上 塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー (はけ・ローラー)	140 (120)	25	

※鋼道路橋防食便覧(平成26年3月)日本道路協会より

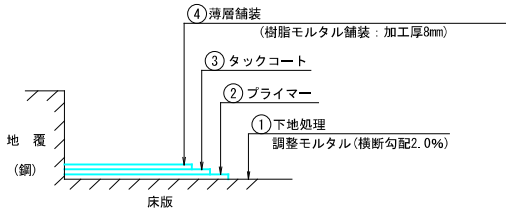
※塗装系F-13の素地調整(プラスト処理)が困難な場合は、プラスト面形成動力工具などにより素地調整1種相当を確保すること。

<現況塗膜の成分分析結果>

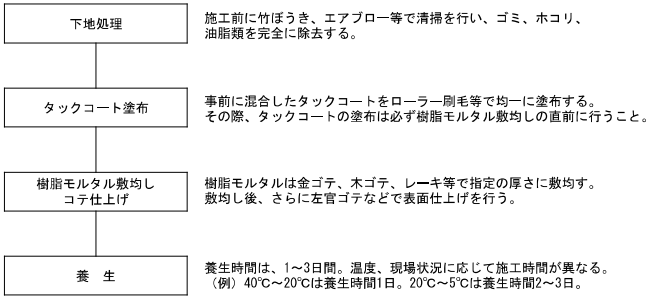
	試 料	含有量			溶出量
		PCB (mg/kg)	鉛 (mg/kg)	総クロム (mg/kg)	鉛 (mg/L)
1	G1主桁	0.10未満	16000	50未満	21
定量下限		0.1	100	50	0.005
判定基準		0.5	含まれないこと	10000	0.3

薄層舗装打替工

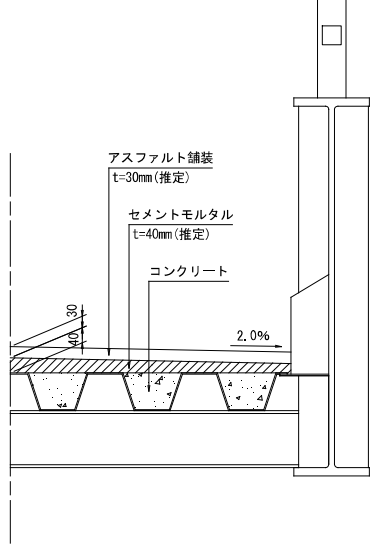
<舗装>



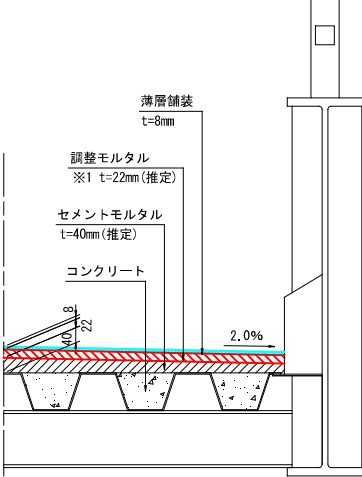
【フロー図】



<現況舗装構成(推定)>



<打替後舗装構成>



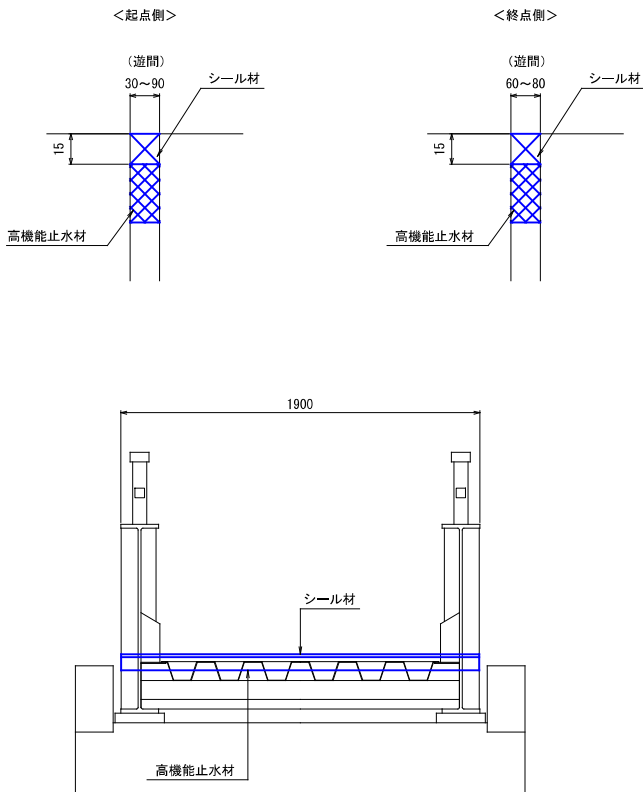
- ※1 現況の路面高は、現場にて調整すること。
- ※2 現況の舗装構成は土木構造物標準設計を参考にしている。

図面番号	2 / 3	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事(市道明神12号線1号橋梁(親子橋))		
種 別	明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修詳細図(2/2)	番 号	2 / 2
路 線 河 川 名	市道明神12号線		
工事箇所	三原市明神3丁目 地内		
三 原 市			

明神12号線1号橋梁(親子橋) 補修詳細図(2/2) 参考図

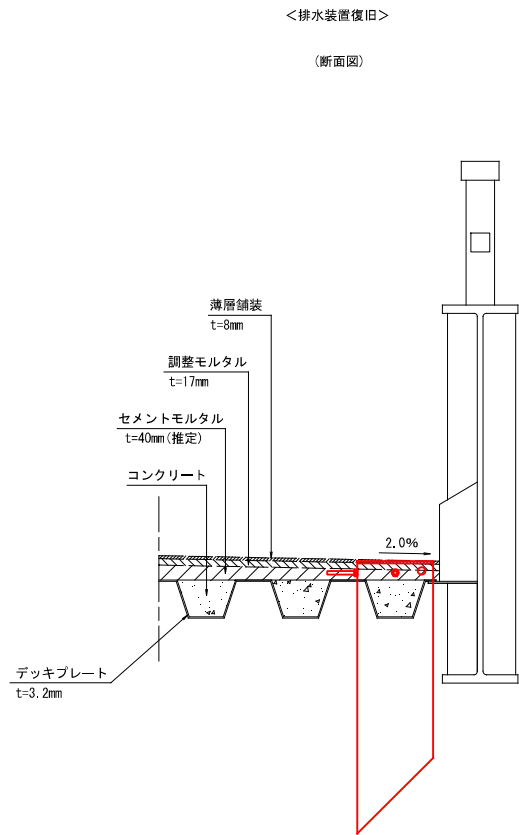
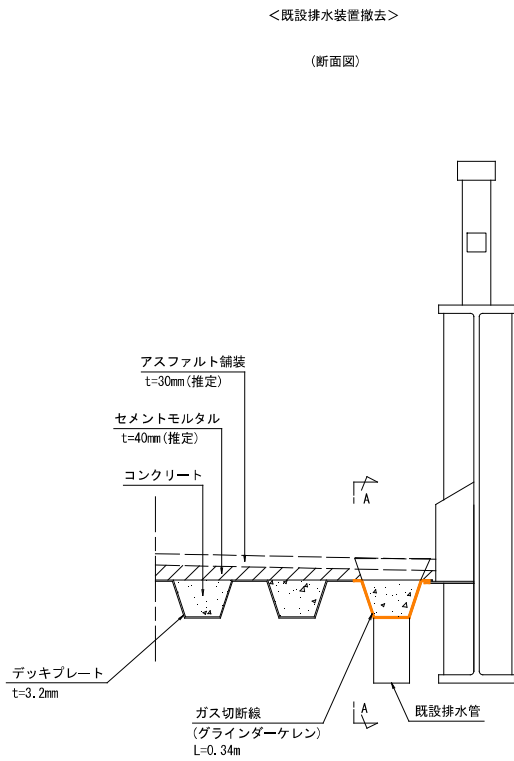
(参考図)

伸縮装置取替工

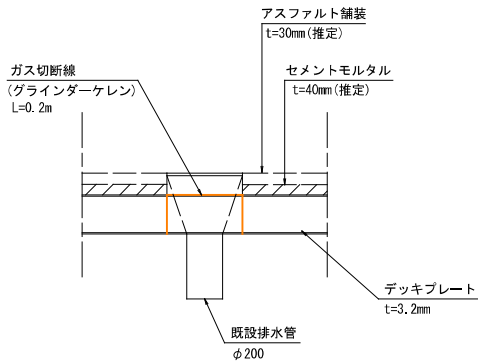


排水装置設置工

(N=4箇所)

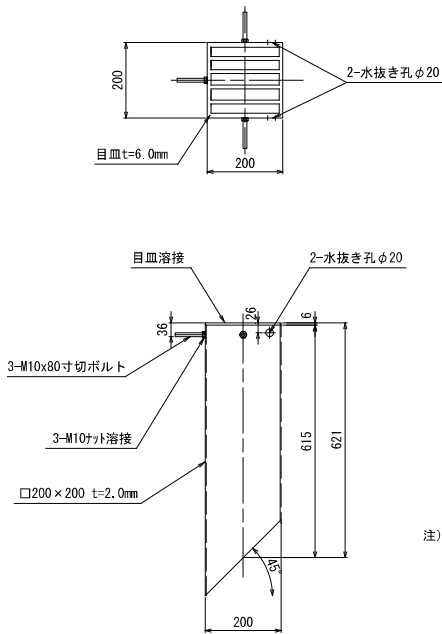


(A-A)



(排水装置参考図)

TSステンレス排水装置 (SUS304)



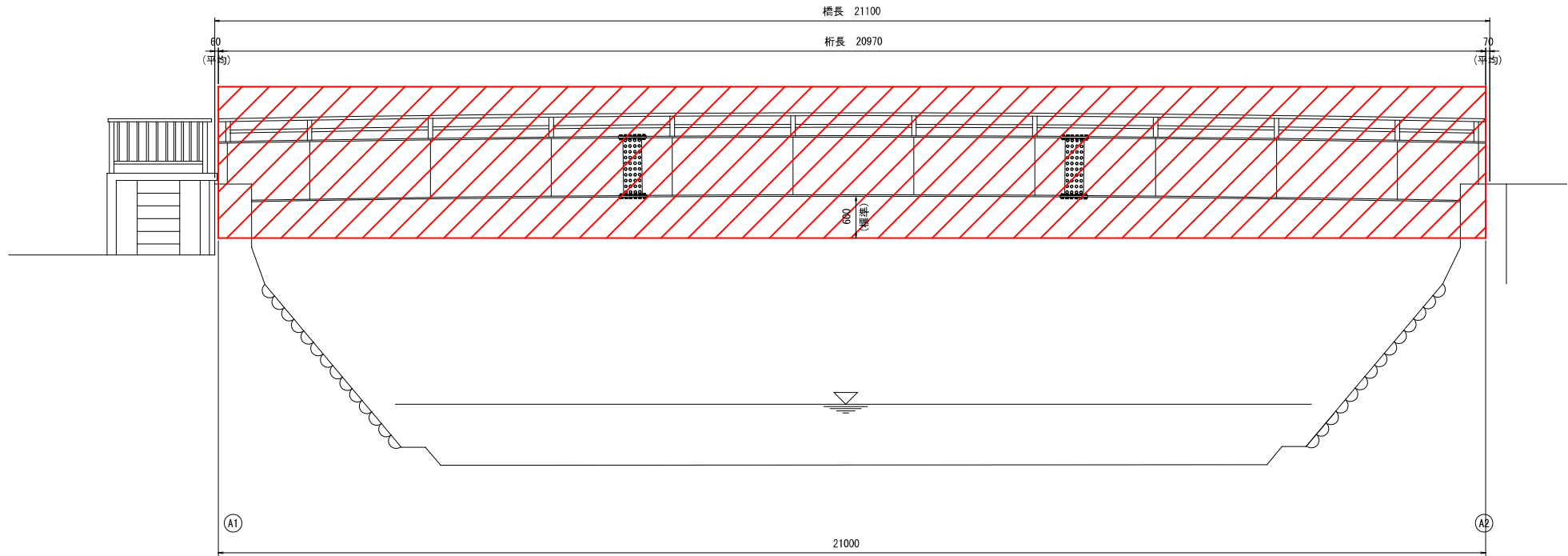
- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し
耐食性向上の措置を講じる。
4. 現地調査にて寸法確定後製作する。

図面番号	3 / 3	縮 尺	図 示
工 種	橋梁補修工事(市道明神12号線1号橋梁(親子橋))		
種 別	明神12号線1号橋梁(親子橋) 仮設計画図	番 号	1 / 1
路 線 河 川 名	市道明神12号線		
工事箇所	三原市明神3丁目 地内		
三 原 市			

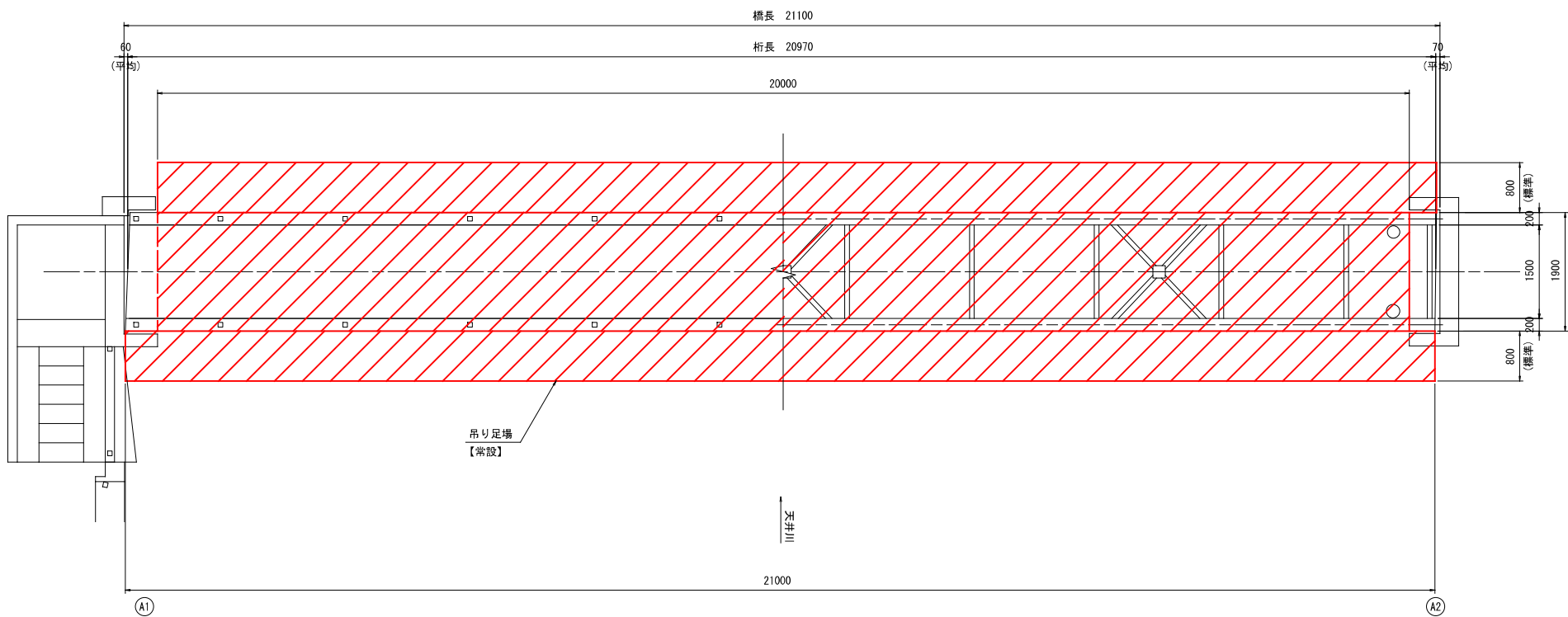
(参考図)

明神12号線1号橋梁(親子橋) 仮設計画図(参考図)

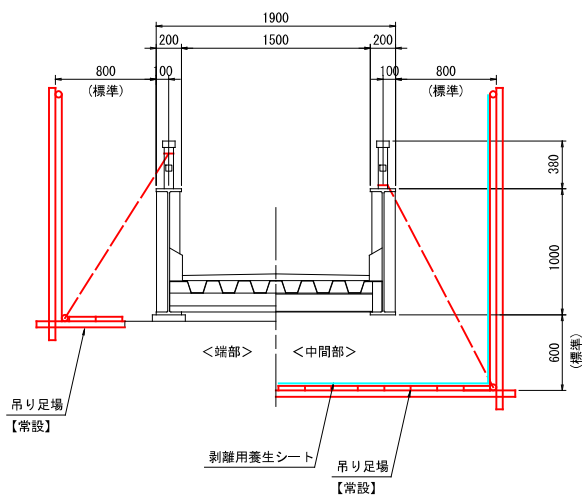
側 面 図 S=1:50



平 面 図 S=1:50



標準断面図 S=1:30



橋梁諸元

橋 梁 名	明神12号線1号橋梁 (親子橋)
路 線 名	明神12号線
橋 長	21.100m
桁 長	20.970m
全 幅 員	1,900m(有効幅員: 1,500m)
径 間 数	1径間
交差条件	河川 (天井川)
架設年度	1984年(昭和59年)
上部工形式	桁橋 1桁 (不明)
下部工形式	重力式橋台

注) 1. 本図は、既存竣工図が無いため、地上からの寸法計測により作成したものである。

位置図

